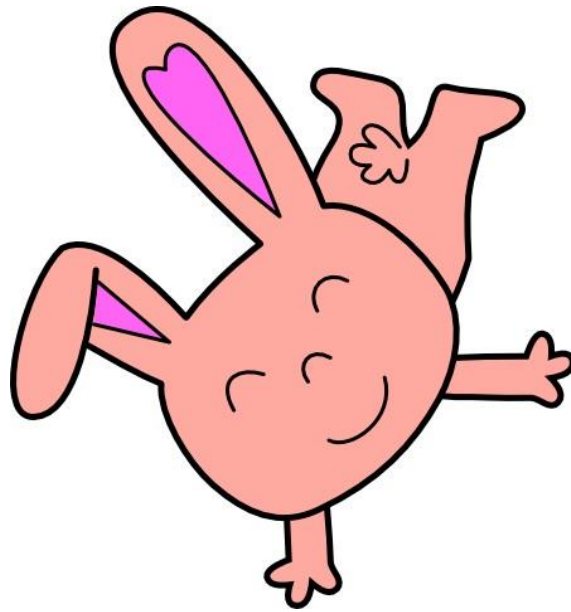




第 2 期 足立区子育てサロン整備計画



子育てサロンのマスコット・キャラクター
さ ろ ぴ ょ ん

令和 7 年 7 月

地域のちから推進部 住区推進課

目 次

1	事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	第1期子育てサロン整備計画の現状・・・・・・・・	1
3	計画の改定にあたって・・・・・・・・	1
	（1）子育てサロンの整備数・・・・・・・・	1
	（2）施設類型（3タイプ）の定義と機能分担・・・・・・・・	2
	（3）環境整備・・・・・・・・	3
	（4）開室時間の延長・・・・・・・・	3
	（5）一時預かり・・・・・・・・	4
4	整備計画について・・・・・・・・	5
	（1）3タイプの役割・・・・・・・・	5
	（2）地域の整備計画・・・・・・・・	10

1 事業の概要

足立区では、地域子ども・子育て支援事業における「地域子育て支援拠点事業（児童福祉法第6条の3第6項）」を「子育てサロン事業」と称して運営しています。子育てサロン事業は、乳幼児とその保護者が安心して自由に遊ぶだけではなく、利用者同士の交流やスタッフへの相談を行うことなどを通じて、子育てに伴う不安や負担の軽減と育児の孤立防止を図るなど、健全な子育てを応援する目的で実施しています。

2 第1期子育てサロン整備計画の現状

本計画は、足立区子ども・子育て支援事業計画に基づき、区内を6地域に分けて子育てサロン数の整備や役割について定めています。

第1期子育てサロン整備計画（令和2年度から令和6年度）では、子育てサロンを機能別に「商業施設等内」「拠点型」「児童館」の3つのタイプに分けることで役割を明確化し、利用者自身が状況に合わせて選択できるよう整備を進めてきました。令和6年度の子育てサロン利用者アンケート（以下「利用者アンケート」という）では、「子育てサロンに3つのタイプがあることを知っている」と答えた人は65.9%となっています。

また、第1期子育てサロン整備計画では、子育てサロンの整備をエリアデザイン等のまちづくり計画と連動させて進めるよう定めました。これに伴い、令和7年4月には、子育てサロン上沼田が「すこやかプラザあだち」内に移転し、令和7年6月には、北綾瀬駅前商業施設内に新規開設しました。さらに、子育てサロン関原についても、令和9年度に梅田八丁目複合施設内に移転する方向で検討を進めています。

3 計画の改定にあたって

本計画の改定にあたっては、既存のハード面（施設整備数と施設類型）に加え、子ども・子育て支援に関するニーズ調査（以下「ニーズ調査」という）や利用者アンケートの結果を踏まえて、ソフト面も含めた以下の5つの項目を重視していきます。

（1）子育てサロンの整備数【既存】

ニーズ調査に基づく令和7年度から令和11年度の量の見込みと確保方策では、令和5年度・6年度の定員に対する利用率（※）を考慮すると地

3 計画の改定にあたって

域別にみても必要数を確保できる状況です（詳しくは、P10 以降を参照）。そのため、子育てサロンの整備数については、第1期子育てサロン整備計画で予定していた全体数69か所を維持していきます。

※ 利用率＝（利用者数/定員）×100

（2）施設類型（3タイプ）の定義と機能分担【既存】

ア 施設類型（3タイプ）の定義

利用者アンケートによると、児童館子育てサロンの利用目的は「広い場所で遊ばせたい」という回答が多く、拠点型子育てサロンは児童館子育てサロンに比べて「スタッフとの関わり」や「子育てのことなどを相談したい」という割合が多くなっています。機能別の3タイプについて一定程度認知され、利用者が使い分けていることから、現在の3タイプの分類は今後も継続していきます。

イ 機能分担

ニーズ調査では、「子育てサロンを利用したことがない」方が38.0%おられました。商業施設等内の子育てサロンを知ったきっかけでは、71.9%の人が「通りがかり」と回答していることから、面積100㎡以上かつ駐車場がある子育てサロンについては、区内全域からの集客が見込まれるため、商業施設内でなくても大型施設に位置づけていきます。

子育てサロンの全体数については第1期の計画を維持しながら、上記の条件を満たす「拠点型」を「商業施設等内」のタイプに変更することで、子育てサロンを知ってもらうきっかけとなる施設を増やしていきます。

子育てサロン タイプ別	主な機能	施設の条件
商業施設等内の 子育てサロン（大型） （右記「施設の条件」 を満たす公共施設内の 子育てサロンを含む）	『立ち寄りやすさ』 ・区内全域の利用者を対象として、誰でも気軽に利用しやすい「立ち寄りやすさ」を重視 ・目を引く大型遊具等を整備して「広告塔」的な役割を担う	面積が100㎡以上かつ駐車場のあ る子育てサロン
拠点型 子育てサロン（中型） （区内6地域別に拠点 的に配置）	『寄り添い』 ・子育てに関する知識を持ったスタッフを配置 して相談体制を充実させた「寄り添い」型	
児童館 子育てサロン（小型）	『居場所』 ・自宅の近くにあり、気兼ねなく過ごせる「居 場所」型	

（３）環境整備【第２期から新規】

利用者アンケートでは、環境面で直してほしいところとして、「壊れているおもちゃが多い」が6.2%、「おもちゃが少ない」が7.7%でした。

親子が過ごしやすい環境を整えていくため、今後は、「子どもの意欲を引き出す遊具計画（子ども施設指導支援課 令和7年5月策定）」に準じて、遊具の選定や買い替え時期の基準を定め、子どもの想像力や創造力、思考力の向上を意識した遊具の配置を行っていきます。

拠点型子育てサロンについては、研修を通じてスタッフのスキルアップを図り、遊びを通して関わることで、子どもの非認知能力をより一層高められるよう努めていきます。

（４）開室時間の延長【第２期から新規】

利用者アンケートでは、開室時間の延長を「希望する」が34.1%で、特に前後1時間程度の延長希望が多くありました。職員配置やセキュリティ等の施設状況に応じて、時間延長について可能な施設から着手していきます。

3 計画の改定にあたって

(5) 一時預かり【第2期から新規】

ア 既存の子育てサロン

現在、子育てサロンでの一時預かり事業の実施は1か所（子育てサロン西新井）のみです。

既存の子育てサロンでの一時預かり事業は、他の民間保育園等で実施していることやスペースが狭いことから、拡大しない方針です。

イ 新規開設および移転する子育てサロン

一時預かり専用のスペースや二方向避難の確保ができる場合は、近隣保育施設への影響や入居する施設全体の利便性等を考慮して、実施の可否を検討していきます。

なお、子育てサロン関原が梅田八丁目複合施設内に移転した際には、図書館やNPO活動支援センターなど、複合施設の利用者を対象とした一時預かりの実施を予定しています。

4 整備計画について

本計画は、令和7年度から令和11年度の5か年計画とします。令和10年度に中間検証を行い、次期の計画につなげていきます。

なお、本計画は「第3期足立区子ども・子育て支援事業計画」に準じ、区内を「千住」「綾瀬・佐野」「梅田・中央本町」「竹の塚・六町」「江北・鹿浜・舎人」「新田」の6地域に分け、各地域に役割の異なる3つのタイプの子育てサロンをバランスよく整備していきます。

(1) 3タイプの役割

【商業施設等内の子育てサロン】

ア 概要

多くの人が利用する商業施設や複合施設内に設置し、子育てサロン以外の目的で施設を利用する人にも気軽に利用できる「立ち寄りやすさ」を重視していきます。目を引く大型遊具等を整備して、子育てサロンを知ってもらう広告塔的な役割を担っています。

イ 主な役割

(ア) 子育てサロンの周知

商業施設や複合施設内で乳幼児期から遊べる大型遊具等を設置し、誰もが立ち寄りやすい環境をつくります。施設の共用部から子育てサロンの様子が見えるように工夫する等、買い物途中に子育てサロンを知って利用してもらう場としていきます。

(イ) 居住地域の子育てサロンへのつなぎ

広域からの利用者には、居住地域の拠点型や児童館子育てサロンを紹介し、日常的な子育てサロン利用を促進していきます。

(ウ) 父親の利用促進

土・日も開室することにより、父親を含めた家族での利用を促していきます。また、大型遊具を設置するなど、遊び場としての機能を充実させていきます。

ニーズ調査によると、父親の育児休業取得率は16.9%（前回調査から12.3ポイント増）と増加しています。また、国立成育医療研究センターの調査によると、父親の産後うつ発症率は、母親とほぼ同水準となっています。父親が育児に深く関わることにより、父親にも育児に対するストレスや不安が増し、今後は、父親への寄り添い支援も必要になることから、子育てサロンが母親だけでなく父親にとってもリフレッシュの場にもなるよう、父親向けの講座やイベント等を実施していきます。

4 整備計画について

(エ) プレママ・プレパパへの周知

妊娠中も働いているプレママ・プレパパを対象に、土日や夜間の時間帯を活用したイベントを実施していきます。

生後4か月までのお子さんと保護者を対象とした事業「あかちゃんず」では、多くの子育ての悩みや不安を共有する姿が見られます。出産後に悩みや不安を感じた時には、すぐに子育てサロンを利用できるように、妊娠期から子育てサロンを広く周知していきます。

(オ) 子育て情報等の発信

広域からの利用が見込まれるため、区全体の子育て情報を発信していきます。

(カ) 相談機能

有資格者(保育士または幼稚園教諭の有資格者、足立区ホームサポーターの認定を受けた者、東京都子育て支援員研修の地域子育て支援コース修了者のいずれか)を常時2名以上配置します。必要に応じて相談や専門機関へつないでいきます。

(キ) 読み読みの推進

子育てサロン内の絵本コーナーを充実させて、定期的な読み語りや絵本の選書相談等を実施します。

(ク) 開室時間外の有効活用

日中、子育てサロンを利用できない人を対象に、子育てサロンの閉室後、商業施設等が開いている夜間の時間帯に実施している「保護者向けの講座等」の内容を充実させていきます。

(ケ) 他店舗との連携

商業施設内の店舗や複合施設の他機関と連携し、イベント等を実施します。

【拠点型子育てサロン】

ア 概要

子育てに関する知識を持った有資格者を常時2名以上配置し、相談体制を充実させた「寄り添い」を重視していきます。商業施設等内の子育てサロンよりも落ち着いた環境の中で「見守る」「話を聴く」「ともに考える」「助言する」等をとおして、利用者に寄り添う役割を担っていきます。

イ 主な役割

(ア) 利用者への寄り添い

利用者との関わりの中で、子育ての大変さや楽しさを共感し、子どもの成長をともに喜び見守ることで、子育ての応援をしていきます。

(イ) 相談機能の充実

利用者との日常会話などから子育ての不安や悩みをくみ取り、傾聴、助言、利用者同士のつなぎ等、利用者のニーズに合わせて対応し、必要に応じて専門機関へつないでいきます。

ニーズ調査によると、相談や情報収集の場として拠点型子育てサロンを利用している人は 26.4%となっています。子育てサロンでの相談件数も、年々増加傾向にあります。特に発育・発達や生活習慣についての相談の割合が多い傾向にあります。

(ウ) 子育ての仲間づくり

低月齢からの利用促進や同じくらいの年齢のお子さんをもつ保護者同士がつながれるよう、年齢をしばったイベントを実施します。仲間づくりを支援することで、子育ての孤立を防止します。

(エ) 子育てに対する負担感の軽減

保護者がリフレッシュできるイベントを実施したり、一時的に子どもと離れて一人になれる「ホッと一息コーナー」の利用を促進していきます。保護者がリフレッシュする機会を設けることで、子育ての負担感を軽減し、子育てにより前向きになれるよう応援します。

ニーズ調査による子育てについての感想では、「楽しいと感じる」と辛いと感じることが同じくらい」33.7%（前回の調査から4.6ポイント増）、「辛いと感じることが多い」2.9%（前回の調査から0.4ポイント増）となっています。子育て中の保護者の息抜きのためにも子育てサロンは重要な役割を担っていきます。

(オ) 子育て情報等の発信

子育てに関する講座の実施や情報の提供を行い、子育てに取り組む意識や自信を高めていきます。

(カ) 利用者と地域のつなぎ

地域のイベント情報等を提供し、利用者が地域とつながるきっかけづくりを行います。

4 整備計画について

【児童館子育てサロン】

ア 概要

身近な地域の児童館で、親子が気兼ねなく過ごせる「居場所」を提供します。

イ 主な役割

（ア）親子で過ごす居場所

広い空間で、子どもはのびのびと遊び、保護者はゆったりと見守りながら、子育て中の親子が気兼ねなく過ごせる居場所としての役割を持たせます。

（イ）子育ての仲間づくり

乳幼児親子向けの活動を通じて、子どもも保護者も地域内に顔見知りを増やし、仲間づくりにつなげていきます。

また、地域の中で乳幼児期（子育てサロン利用）から児童期（児童館利用）へのスムーズな移行を促していきます。

【3タイプの特徴（一覧）】

	商業施設等内の子育てサロン	拠点型子育てサロン	児童館子育てサロン
対 象	・商業施設等内で、利便性も良く、広域から多くの人が利用する。 ・父親や家族ぐるみで利用しやすい。 ・広範囲・新規の利用が多い。 通いやすさ	・各地域に拠点的にある。 ・専門スタッフがあり、話し相手や相談相手、ママ・パパ友づくりの介添えも行う。 ・同年齢の子と遊ばせやすい。 ・常連利用になりやすい。 寄り添い	・居住している身近な地域にある。 ・地域の人々の常連利用が多い。 身近
	・相談したくても、行きにくいと感じている。 ・子育てについての悩みや不安に気づけていない。 ・子育てサロンの役割を必要としているが、必要性に気づいていない、若しくはサロンの存在を知らない。 発見	・子育てについての悩みや不安を自覚している。 ・子育てについて、悩みや相談事を解決したい。 ・大人同士の会話の相手や、子育ての仲間が欲しい。 ・スタッフに関わってほしい。 ・子育ての情報がほしい。 解決	・居場所を求めている。 ・スタッフとの関わりはゆるやかでよい。 ・ママ友同士で集まりたい。 ・広いスペースで子どもを遊ばせたい。 自立
ス タ ッ フ	・リスクや問題を発見し、各々に合わせ対応していく。 ・拠点型や児童館につなぐ。 ・子育て情報を提供する。	・利用者の状況や目的を見極めて、利用者に寄り添った相談や対応を行う。 ・悩みや不安が解決したら、身近な児童館につなぐ。 ・子育て情報を提供する。	・居場所を提供する。 ・相談や対応を求められたときに応じる。 ・必要な支援に応じて、拠点型や商業施設等内の子育てサロンにつなぐ。
	・有資格者を常時2名以上配置	・有資格者を常時2名以上配置	・資格問わず1名程度の配置
主 な 事 業	・父親の育児参加の促進 ・プレママ・プレパパの受入れ ・子育て啓発イベント ・他店舗等との連携イベント ・保護者向けの講座等は子育てサロン閉室後も実施	・父親の育児参加の促進 ・プレママ・プレパパの受入れ ・子育て啓発イベント	・乳幼児親子向け事業

4 整備計画について

(2) 地域別の整備計画

各地域別の計画では、エリアデザイン等のまちづくり計画に連動させていくため、設置計画が明確になっているもののみを「年度中整備」欄に記載しました。また、大規模改修等に伴う子育てサロンの休室期間も、数値に反映させています。

※量の見込み（今後のニーズ量）については、区が令和6年度に実施したニーズ調査の結果を記載しています。

【区全域】（第3期足立区子ども・子育て支援事業計画）

単位：人回/年

（区全域）	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
子育てサロン数	64	59	59	60	61
量の見込み（A）	459,405	456,543	454,122	452,031	448,728
確保方策（年度当初定員）（B）	518,304	495,918	437,893	455,442	456,701
過不足（C）＝（B）－（A）	22,899	39,375	-16,231	3,411	7,972

（区全域）	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度中整備	25,221※1	0	0	5,179※2	0

※1 子育てサロン上沼田の移転に伴う面積・開室日の増および子育てサロン北綾瀬の年度途中開設に伴う増。

※2 子育てサロン関原の移転予定に伴う開室日拡大の増。

<量の見込みと確保方策について> 【令和5年度・6年度の利用率（約65%）】

子育てサロン全体では、計画最終年の令和11年度までに定員を確保できる状況にあります。令和9年度に大規模改修工事の影響により不足状態になりますが、令和5年度・6年度の利用率（約65%）を考慮すると十分に確保できる状況です。

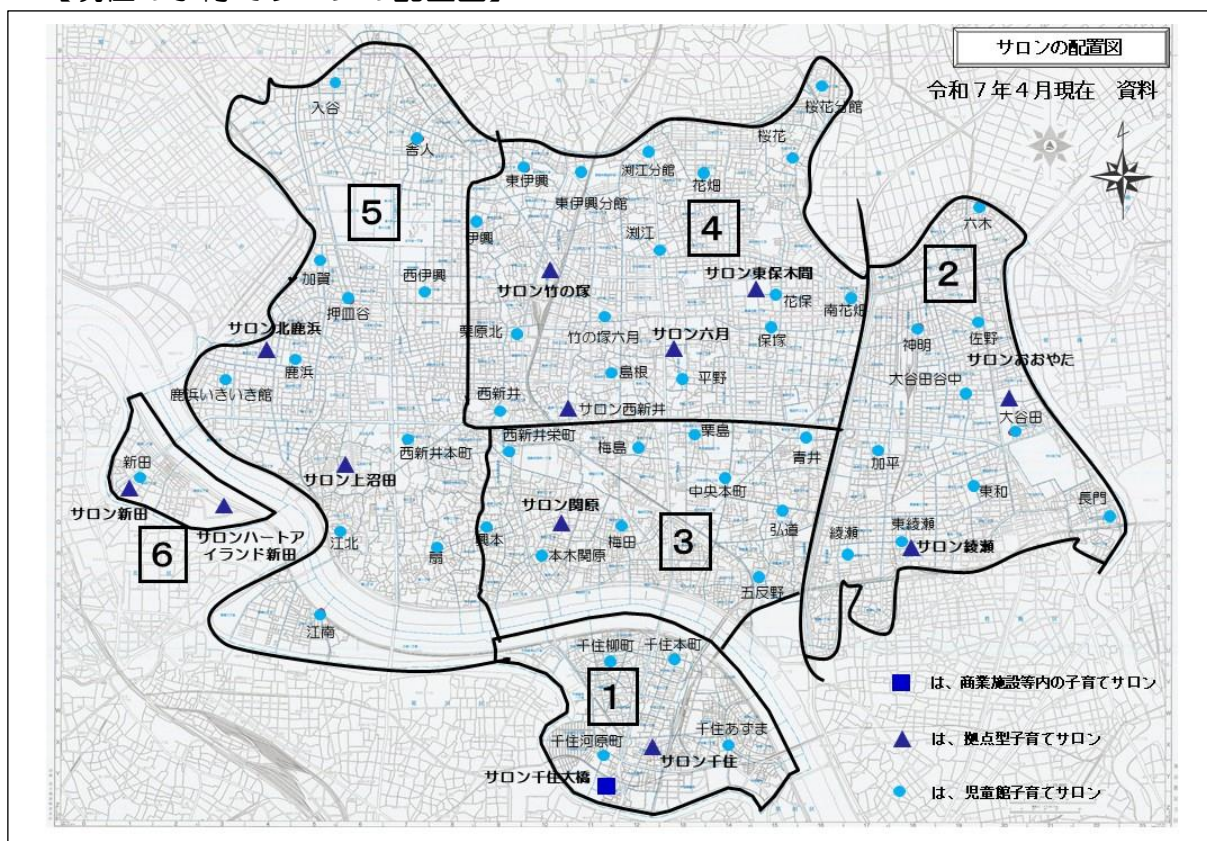
<過不足について>

大規模改修による休室や移転に伴う開室日拡大等の影響で、過不足については大きな変動が生じます。

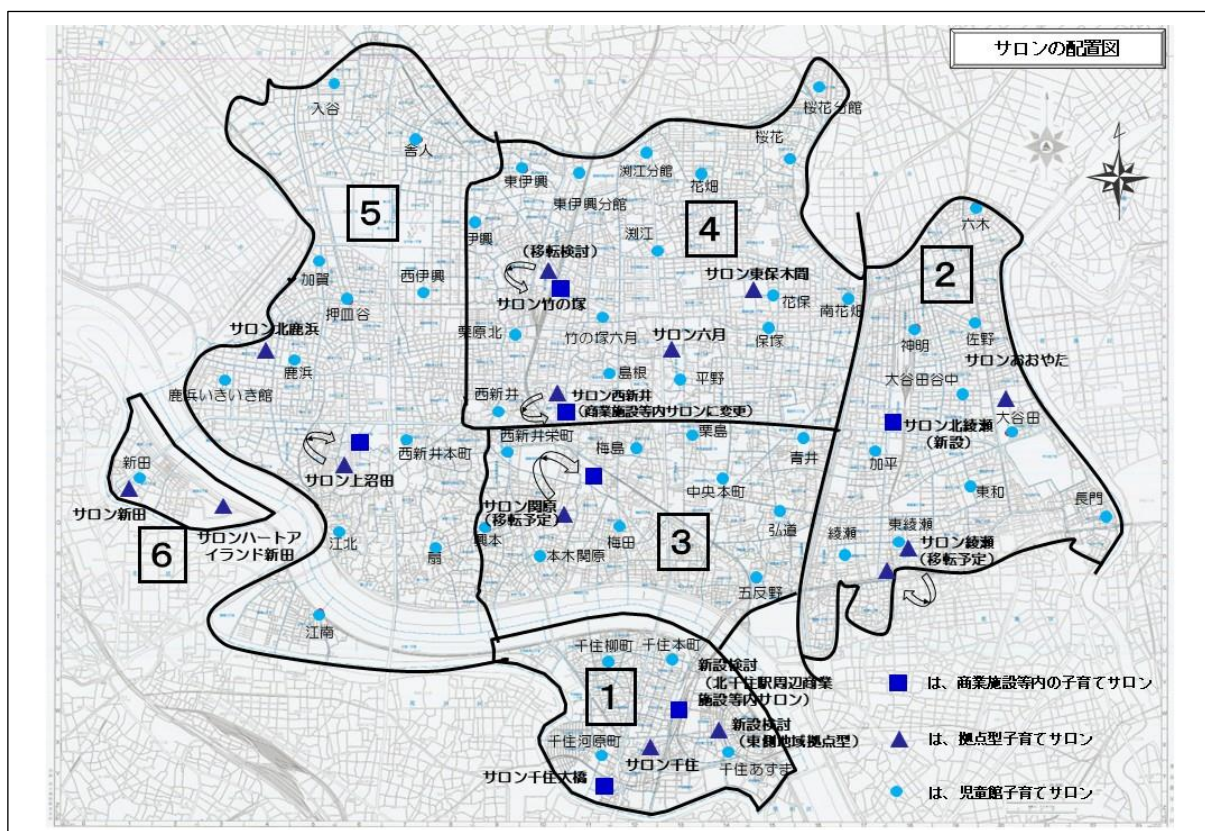
令和7年度については、「子育てサロン上沼田」が「すこやかプラザあだち」内へ移転したことで「子育てサロン北綾瀬」の開室により、25,221名の定員増になります。

4 整備計画について

【現在の子育てサロンの配置図】



【今後の子育てサロンの配置計画図】



4 整備計画について (千住地域)

【千住地域（提供区域1）】

ア 令和5年度の施設数と利用実績

(千住地域)		施設数	延べ利用人数
子育てサロン		6か所	56,151 人回/年
内訳	商業施設等内	1か所	34,456 人回/年
	拠点型	1か所	9,635 人回/年
	児童館	4か所	12,060 人回/年

イ 今後の整備計画

(千住地域)		令和7年4月1日現在の施設数	整備後の施設数
子育てサロン		6か所	8か所(+2)
内訳	商業施設等内	1か所	2か所(+1)
	拠点型	1か所	2か所(+1)
	児童館	4か所	4か所(±0)

(配置計画図)【千住地域】



- は、商業施設等内の子育てサロン
- ▲ は、拠点型子育てサロン
- は、児童館子育てサロン

4 整備計画について
(千住地域)

	令和2年度時点の整備計画 (第1期整備計画)	現状(令和6年)	今後の考え方
商業施設等内 子育てサロン	◎子育てサロン千住大橋 (ポンテポルタ千住内) ◎新設(北千住駅周辺) 千住地域だけでなく、全区 から人が集まっているため、 商業施設等内の子育てサロ ンの新設を検討する。	◎子育てサロン千住大橋 (ポンテポルタ千住内)	◎子育てサロン千住大橋 (ポンテポルタ千住内) ◎新設(北千住駅周辺) 【第1期から継続】 第1期から継続し、全区か ら人が集まる北千住駅周 辺に商業施設内の子育て サロンの新設を検討して いく。
拠点型 子育てサロン	○子育てサロン千住 (千住庁舎内) ○新設(北千住駅東口側) 千住東側地域の乳幼児を 抱えた世帯が増えているこ とからも、千住地域(北千住 駅東口側)に拠点型子育てサ ロンの新設を検討する。	○子育てサロン千住 (千住庁舎内)	○子育てサロン千住 (千住庁舎内) 千住庁舎の大規模改修 時には、休室を予定してい る。 ○新設(北千住駅東口側) 【第1期から継続】 第1期から継続し、北千 住駅東口側に、拠点型子育 てサロンの新設を検討し ていく。
児童館 子育てサロン	【乳幼児専用室あり】 千住あずま、千住柳町 【乳幼児専用室なし】 千住河原町、千住本町		

4 整備計画について (千住地域)

〈参考／第3期足立区子ども・子育て支援事業計画〉

単位：人回/年

(千住地域)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
子育てサロン数	6	5	5	6	5
量の見込み(A)	65,703	65,293	64,947	64,648	64,176
確保方策(年度当初定員)(B)	64,940	57,085	57,085	64,940	62,060
過不足(C) = (B) - (A)	-763	-8,208	-7,862	292	-2,116

〈量の見込みと確保方策について〉【令和5年度・6年度の利用率(約91%)】

- ① 令和8年度・9年度に千住庁舎(子育てサロン千住)の大規模改修、令和11年度に千住本町住区センターの大規模改修を実施する予定です。
- ② 工事のための一時的な不足状態であるため、千住地域に限らず他の子育てサロンを案内するなどの対応を行います。

4 整備計画について
(綾瀬・佐野地域)

【綾瀬・佐野地域（提供区域2）】

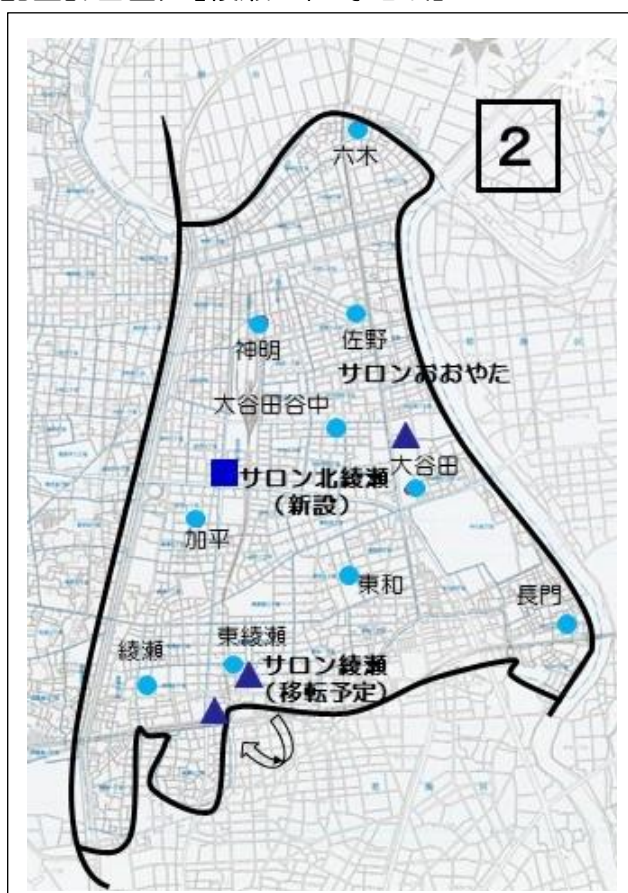
ア 令和5年度の施設数と利用実績

(綾瀬・佐野地域)		施設数	延べ利用人数
子育てサロン		12か所	44,832人回/年
内訳	拠点型	2か所	15,910人回/年
	児童館	10か所	28,922人回/年

イ 今後の整備計画

(綾瀬・佐野地域)		令和7年4月1日現在の施設数	整備後の施設数
子育てサロン		12か所	13か所(+1)
内訳	商業施設等内	—	1か所(+1)
	拠点型	2か所	2か所(±0)
	児童館	10か所	10か所(±0)

(配置計画図) 【綾瀬・佐野地域】



- は、商業施設等内の子育てサロン
- ▲ は、拠点型子育てサロン
- は、児童館子育てサロン

4 整備計画について
(綾瀬・佐野地域)

	令和2年度時点の整備計画 (第1期整備計画)	現状(令和6年)	今後の考え方
商業施設等内 子育てサロン	◎綾瀬駅周辺 基幹的な役割を果たす機能も含めて、綾瀬駅周辺(イトーヨーカドー等)の商業施設等内への移転を検討する。 (北綾瀬駅の記載なし)		◎子育てサロン北綾瀬 令和7年6月頃に北綾瀬駅前の商業施設内に新設する。
拠点型 子育てサロン	○子育てサロン綾瀬 (東綾瀬住区センター内) ○子育てサロンおおやた (中川東小学校内) ○新設(北綾瀬駅周辺) 北綾瀬駅周辺にマンションの急増が予想されるため、人口推移を考慮しながら駅周辺に期間限定の子育てサロン設置を検討する。	○子育てサロン綾瀬 (東綾瀬住区センター内) ○子育てサロンおおやた (中川東小学校内)	○子育てサロン綾瀬 旧子ども家庭支援センター等跡地への移転を予定している。 北綾瀬が商業施設等内の子育てサロンとして新設するため、拠点型の子育てサロンの位置づけとする予定。 ○子育てサロンおおやた (中川東小学校内)
児童館 子育てサロン	【乳幼児専用室あり】 東和 【乳幼児専用室なし】 綾瀬、東綾瀬、長門、大谷田、大谷田谷中、加平、佐野、神明、六木		

4 整備計画について (綾瀬・佐野地域)

〈参考／第3期足立区子ども・子育て支援事業計画〉

単位：人回/年

(綾瀬・佐野地域)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
子育てサロン数	12	12	13	12	13
量の見込み(A)	96,349	95,749	95,241	94,803	94,110
確保方策(年度当初定員)(B)	78,056	83,947	86,827	83,947	86,827
過不足(C) = (B) - (A)	-18,293	-11,802	-8,414	-10,856	-7,283

(綾瀬・佐野地域)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度中整備	17,542	0	0	0	0

〈量の見込みと確保方策について〉【令和5年度・6年度の利用率(約69%)】

- ① 令和7年度～8年度は長門住区センター、令和10年度は六木住区センターの大規模改修を予定しています。
- ② 量の見込みに対しての確保方策は不足していますが、令和5年度・6年度の確保方策(定員)に対する利用率は69%であるため、令和7年度以降の量の見込みに対し、利用率を考慮すると、確保できると見込んでいます。

4 整備計画について
(梅田・中央本町地域)

【梅田・中央本町地域（提供区域3）】

ア 令和5年度の施設数と利用実績

(梅田・中央本町地域)		施設数	延べ利用人数
子育てサロン		11か所	29,678人回/年
内訳	拠点型	1か所	5,907人回/年
	児童館	10か所	23,771人回/年

イ 今後の整備計画

(梅田・中央本町地域)		令和7年の施設数	整備後の施設数
子育てサロン		11か所	12か所(+1)
内訳	商業施設等内	—	1か所(+1)
	拠点型	1か所	1か所(+1)
	児童館	10か所	10か所(±0)

(配置計画図) 【梅田・中央本町地域】



- は、商業施設等内の子育てサロン
- ▲ は、拠点型子育てサロン
- は、児童館子育てサロン

4 整備計画について
(梅田・中央本町地域)

	令和2年度時点の整備計画 (第1期整備計画)	現状(令和6年)	今後の考え方
商業施設等内 子育てサロン	◎新設(西新井駅周辺) 西新井駅付近は商業施設が多く、交通の便も良いため、広範囲の利用者が予測できる。そのため、商業施設等内の子育てサロンを設置する(アリオ等)。		◎子育てサロン関原 ※名称変更の場合あり ・(仮称)梅田八丁目複合施設内に移転する予定。 ・駅の近くに移転し、広域からの利用が見込まれるため、「商業施設等内の子育てサロン」に位置づけを変更する。
拠点型 子育てサロン	○子育てサロン関原 (地域包括支援センター関原併設) 老朽化のため移転を検討	○子育てサロン関原 (地域包括支援センター関原併設)	○新設 (梅田・中央本町地域) 子育てサロン関原が(仮称)梅田八丁目複合施設に移転する際は、「商業施設等内の子育てサロン」に位置づけを変更するため、梅田・中央本町地域内で拠点型子育てサロンとして新設を検討していく。
児童館 子育てサロン	【乳幼児専用室あり】 青井、栗島、五反野 【乳幼児専用室なし】 弘道、中央本町、梅島、西新井栄町、梅田、興本、本木関原		

4 整備計画について
（梅田・中央本町地域）

〈参考／第3期足立区子ども・子育て支援事業計画〉

単位：人回/年

（梅田・中央本町地域）	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
子育てサロン数	11	10	10	11	11
量の見込み（A）	64,652	64,249	63,908	63,614	63,149
確保方策（年度当初定員）（B）	78,380	72,228	72,424	83,559	78,380
過不足（C）＝（B）－（A）	13,728	7,979	8,516	19,945	20,410

（梅田・中央本町地域）	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度中整備	0	0	0	5,179	0

〈量の見込みと確保方策について〉【令和5年度・6年度の利用率（約38%）】

- ① 量の見込みに対して、確保方策は充足しています。
- ② 令和8～9年度に青井住区センター、令和9年度に梅島住区センターの大規模改修を予定しています。
- ③ 令和10年度に、子育てサロン関原が（仮称）梅田八丁目複合施設内に移転する予定。移転の際は、現在の「月～土曜日」の開設日から「日～土曜日（休日を含む）」に変更する予定です。

【竹の塚・六町地域（提供区域4）】

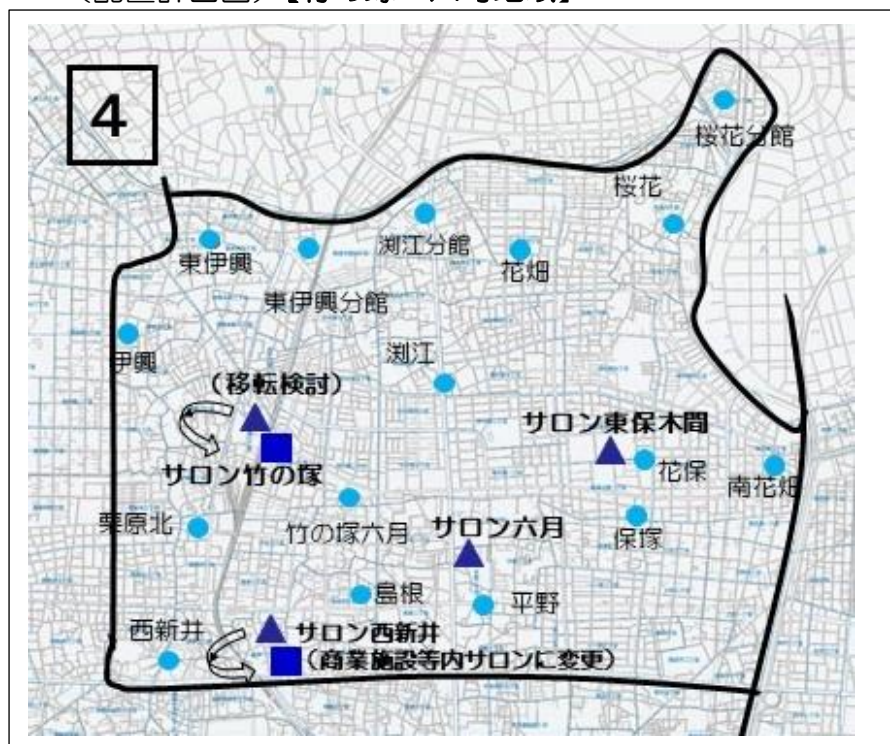
ア 令和5年度の施設数と利用実績

(竹の塚・六町地域)		施設数	延べ利用人数
子育てサロン		19か所	125,459人回/年
内 訳	拠 点 型	4か所	89,469人回/年
	児 童 館	15か所	35,990人回/年

イ 今後の整備計画

(竹の塚・六町地域)		令和7年の施設数	整備後の施設数
子育てサロン		20か所	20か所(±0)
内訳	商業施設等内	0か所	2か所(+2)
	拠点型	4か所	2か所(-2)
	児童館	16か所	16か所(±0)

(配置計画図)【竹の塚・六町地域】



- は、商業施設等内の子育てサロン
- ▲ は、拠点型子育てサロン
- は、児童館子育てサロン

4 整備計画について
(竹の塚・六町地域)

	令和2年度時点の整備計画 (第1期整備計画)	現状(令和6年)	今後の考え方
商業施設等内 子育てサロン	◎子育てサロン竹の塚 竹ノ塚駅高架化に伴い、駅構内等への移転を検討。 移転後は、駅の近くで人出が多くなることが見込まれるため、商業施設等内の機能を持たせる。		◎竹ノ塚駅周辺 【第1期から継続】 第1期から継続して、竹ノ塚駅周辺で商業施設等内の子育てサロンとして移転を検討していく。 ◎子育てサロン西新井 (ギャラクシティ内) 広域からの利用者も多いため、「商業施設等内の子育てサロン」に位置づけを変更する。
拠点型 子育てサロン	○子育てサロン東保木間 (総合スポーツセンター内) ○子育てサロン西新井 (ギャラクシティ内) ○子育てサロン六月 (ゆうあいの郷六月内)	○子育てサロン竹の塚 (竹の塚保健センター内) ○子育てサロン東保木間 (総合スポーツセンター内) ○子育てサロン西新井 (ギャラクシティ内) ○子育てサロン六月 (ゆうあいの郷六月内)	○子育てサロン東保木間 (総合スポーツセンター内) ○子育てサロン六月 (ゆうあいの郷六月内)
児童館 子育てサロン	【乳幼児専用室あり】 湊江、湊江分館、東伊興分館、竹の塚六月、西新井 【乳幼児専用室なし】 東伊興、栗原北、伊興、平野、島根、南花畑、花保、花畑、桜花、桜花分館、保塚		

4 整備計画について (竹の塚・六町地域)

〈参考／第3期足立区子ども・子育て支援事業計画〉

単位：人回/年

(竹の塚・六町地域)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
子育てサロン数	19	16	17	17	16
量の見込み(A)	107,398	106,729	106,163	105,674	104,902
確保方策(年度当初定員)(B)	167,842	154,700	98,231	99,670	92,289
過不足(C) = (B) - (A)	60,444	47,971	-7,934	-6,004	-12,614

〈量の見込みと確保方策について〉【令和5年度・6年度の利用率(約77%)】

- ① 住区センターの大規模改修工事については、東伊興生活館が令和8～9年度、花畑住区センターが令和8～9年度、伊興住区センターが令和10年～11年度、湊江住区センターが令和11年度に予定しています。
- ② 子育てサロン西新井(ギャラクシティ)の大規模改修も令和9年度から実施される予定です。
- ③ 令和9年度から不足状態になりますが、工事のための一時的な不足状態であるため、区域外の子育てサロンも案内するなどの対応を行っていきます。

4 整備計画について
(江北・鹿浜・舎人地域)

【江北・鹿浜・舎人地域（提供区域5）】

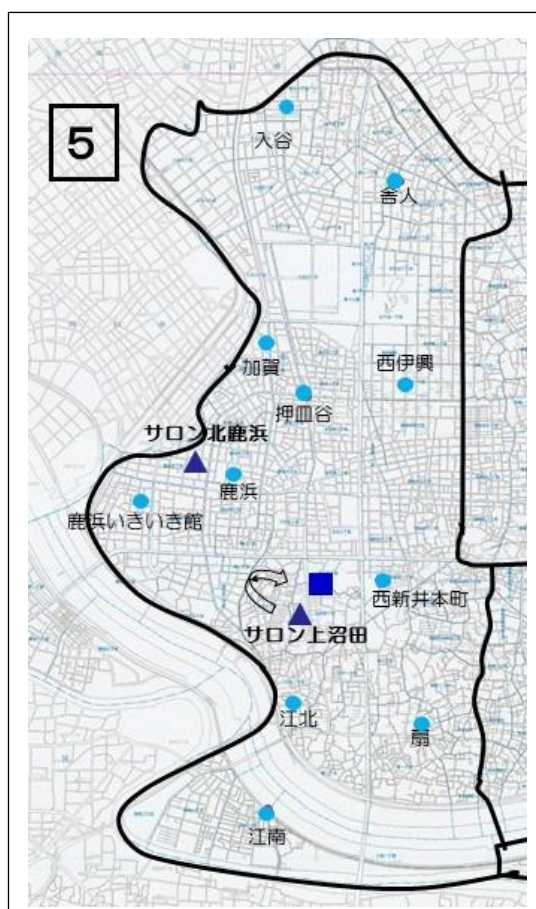
ア 令和5年度の施設数と利用実績

(江北・鹿浜・舎人地域)		施設数	延べ利用人数
子育てサロン		13か所	35,160人回/年
内訳	拠点型	2か所	8,276人回/年
	児童館	11か所	26,884人回/年

イ 今後の整備計画

(江北・鹿浜・舎人地域)		令和7年の施設数	整備後の施設数
子育てサロン		13か所	13か所(±0)
内訳	商業施設等内	—	1か所(+1)
	拠点型	2か所	1か所(-1)
	児童館	11か所	11か所(±0)

(配置計画図) 【江北・鹿浜・舎人地域】



- は、商業施設等内の子育てサロン
- ▲ は、拠点型子育てサロン
- は、児童館子育てサロン

4 整備計画について
(江北・鹿浜・舎人地域)

	令和2年度時点の整備計画 (第1期整備計画)	現状(令和6年)	今後の考え方
商業施設等内 子育てサロン			◎子育てサロン すこやかプラザあだち 令和7年4月21日より「すこやかプラザあだち」内に移転(名称変更)。 駐車場もあり、広域からの利用が見込まれるため、「商業施設等内の子育てサロン」の位置づけに変更する。
拠点型 子育てサロン	○子育てサロン北鹿浜 (北鹿浜小学校内) 学校内では乳幼児親子の利用者からは校門のセキュリティや校門からサロンへのアプローチが長く、利用しにくい、学校外への移転を検討していく。 ○子育てサロン上沼田 (上沼田保育園内) (仮称)江北健康づくりセンター内に移転し、土・日曜日も開設する。	○子育てサロン北鹿浜 (鹿浜未来小学校内) 令和5年度に「鹿浜未来小学校」内に移転した。学校内ではあるが、子育てサロン入口は独立している。 ○子育てサロン上沼田 (上沼田保育園内)	○子育てサロン北鹿浜 (鹿浜未来小学校内)
児童館 子育てサロン	【乳幼児専用室あり】 江南、入谷、鹿浜いきいき館 【乳幼児専用室なし】 舎人、西伊興、加賀、押皿谷、西新井本町、江北、扇、鹿浜		

4 整備計画について (江北・鹿浜・舎人地域)

〈参考／第3期足立区子ども・子育て支援事業計画〉

単位：人回/年

(江北・鹿浜・舎人地域)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
子育てサロン数	13	13	12	12	14
量の見込み(A)	82,579	82,065	81,630	81,254	80,660
確保方策(年度当初定員)(B)	100,051	98,923	97,171	97,171	102,931
過不足(C) = (B) - (A)	17,472	16,858	15,541	15,917	22,271

(江北・鹿浜・舎人地域)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
年度中整備	7,679	0	0	0	0

〈量の見込みと確保方策について〉【令和5年度・6年度の利用率(約55%)】

- ① 住区センターの大規模改修は、江北コミュニティセンターが令和7～8年度、西新井本町住区センターが令和9～10年度、押皿谷住区センターが令和8～10年度に予定しています。
- ② 量の見込みに対して、確保方策は充足しています。

4 整備計画について
(新田地域)

【新田地域（提供区域6）】

ア 令和5年度の施設数と利用実績

(新田地域)		施設数	延べ利用人数
子育てサロン		3か所	11,696 人回/年
内訳	拠点型	2か所	10,874 人回/年
	児童館	1か所	822 人回/年

イ 今後の整備計画

(新田地域)		令和7年の施設数	整備後の施設数
子育てサロン		3か所	3か所（±0）
内訳	商業施設等内	—	—（±0）
	拠点型	2か所	2か所（±0）
	児童館	1か所	1か所（±0）

(配置計画図) 【新田地域】



- ▲ は、拠点型子育てサロン
● は、児童館子育てサロン

4 整備計画について (新田地域)

	令和2年度時点の整備計画 (第1期整備計画)	現状(令和6年)	今後の考え方
商業施設等内 子育てサロン			
拠点型 子育てサロン	○子育てサロン新田 (私立新田保育園内) ○子育てサロン ハートアイランド新田 (ハートアイランド 新田4番街)	○子育てサロン新田 (私立新田保育園内) ○子育てサロン ハートアイランド新田 (ハートアイランド 新田4番街)	○子育てサロン新田 (私立新田保育園内) ○子育てサロン ハートアイランド新田 (ハートアイランド 新田4番街)
児童館 子育てサロン	【乳幼児専用室なし】 新田		

〈参考／第3期足立区子ども・子育て支援事業計画〉

単位：人回/年

(新田地域)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
子育てサロン数	3	3	2	2	3
量の見込み(A)	42,724	42,458	42,233	42,038	41,731
確保方策(年度当初定員)(B)	29,035	29,035	26,155	26,155	29,035
過不足(C) = (B) - (A)	-13,689	-13,423	-16,078	-15,883	-12,696

〈量の見込みと確保方策について〉【令和5年度・6年度の利用率(約39%)】

- ① 令和9～10年度に、新田住区センターの大規模改修を予定しています。
- ② 不足状態が継続しますが、令和5年度・6年度の確保方策(定員)に対する利用率は39%であるため、令和7年度以降の量の見込みに対し利用率を考慮すると、確保できる見込みです。

資料編

【子育てサロンの利用状況】

新型コロナウイルス感染症の影響で、一時、利用者が激減しました。しかし、令和4年度以降、徐々に利用者数も増えてきている状況です。近年では、低年齢の利用が多く、特に拠点型子育てサロンの0～1歳の利用者数については、以前の水準にまで回復してきました。

区 分			令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	平成 30 年度
利用者総数			115,518 人	249,003 人	302,976 人	435,124 人
参 考 数 値	新規利用者数		9,629 人	15,339 人	15,357 人	21,926 人
	低年齢児 の利用数	商業施設等内 および拠点型 （13 か所） 0～1 歳 （商業施設等内含む）	25,541 人 （利用児全体の 70.1％）	48,207 人 （利用児全体の 64.5％）	57,016 人 （利用児全体の 65.0％）	57,960 人 （利用児全体の 56.2％）
		児童館 （52 か所） 0～3 歳	19,699 人	45,186 人	54,245 人	95,145 人
	土・日の 利用数	全体に占める 割合（土日開設商業 施設等内・拠点型サ ロンのみ）	32.4％	40.3％	37.9％	44.8％
		男性の利用率 （土日開設の商業施 設等内・拠点型サロ ンのみ）	36.6％	38.5％	41.3％	38.3％ （19,100 人）
相談件数			4,096 件 （うち拠点型 1,974 件）	6,422 件 （うち拠点型 2,429 件）	7,517 件 （うち拠点型 3,506 件）	23,957 件

*平成30年度数値…新型コロナウイルス感染症拡大前の参考数値として記載

【令和6年度子育てサロン利用者アンケート集計結果】

I 調査の概要

1 目的

子育てサロンの利用目的やスタッフの対応、満足度等を調査し、子育てサロン利用者の実態把握とニーズの検証を行う。集計結果をもとに、今後の子育てサロン事業内容の検討や環境整備、スタッフの利用者対応の向上を行い、新規利用者の拡大につなげる。

2 対象施設

- (1) 商業施設等内の子育てサロン（1か所）
- (2) 拠点型子育てサロン（12か所）
- (3) 児童館子育てサロン（49か所）※休館施設3館は未実施

3 実施期間

令和7年1月17日（金）から2月14日（金）

4 配布方法

二次元コードのついたアンケート依頼文を配布し、オンラインで回答してもらう。

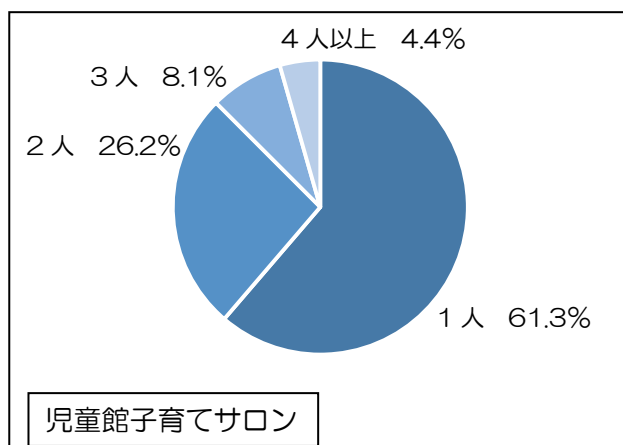
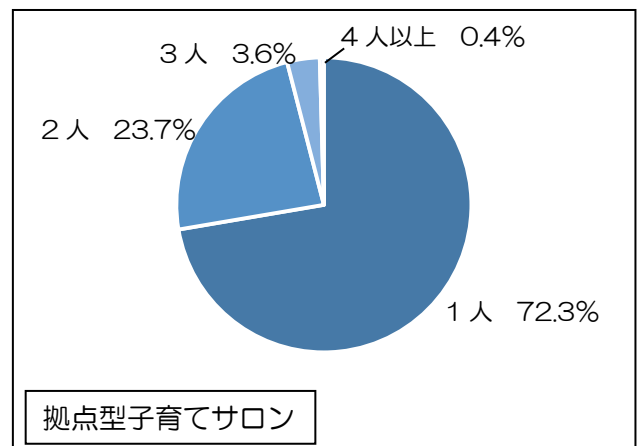
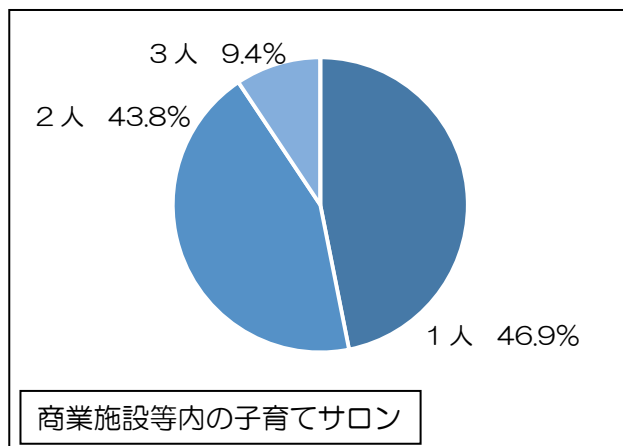
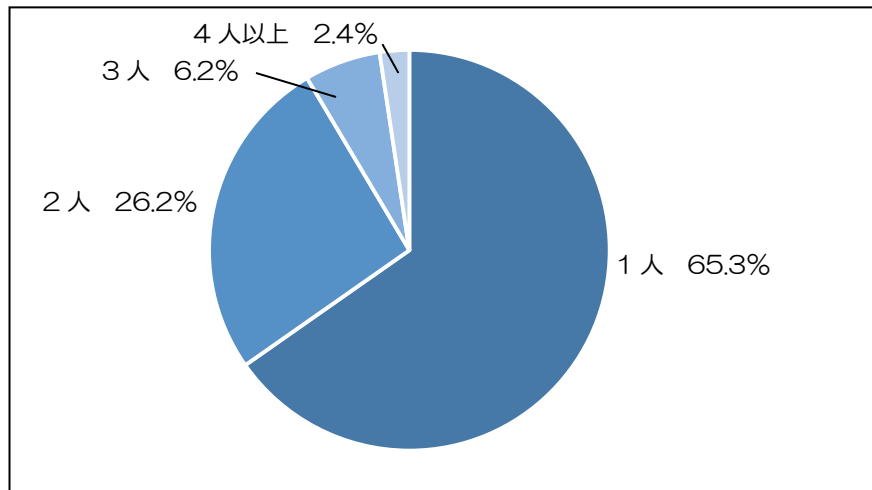
5 配布数、回収数、回収率

	商業施設等内の子育てサロン	拠点型子育てサロン	児童館子育てサロン
配布数	50枚	520枚	980枚
回答数	32件	224件	248件
回答率	64%	43%	24.8%

Ⅱ 令和6年度子育てサロン利用者アンケート集計

62施設 有効回答数 504

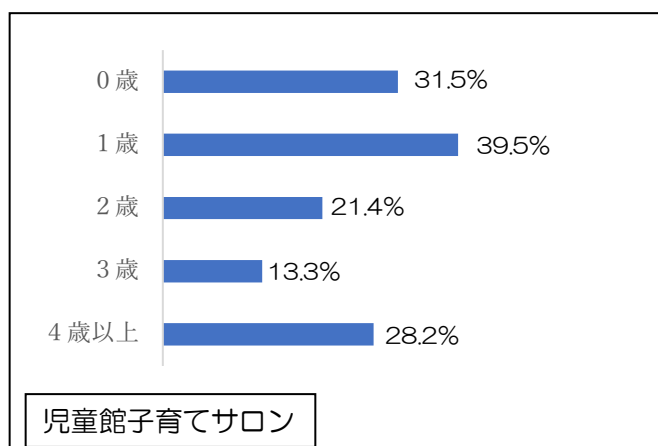
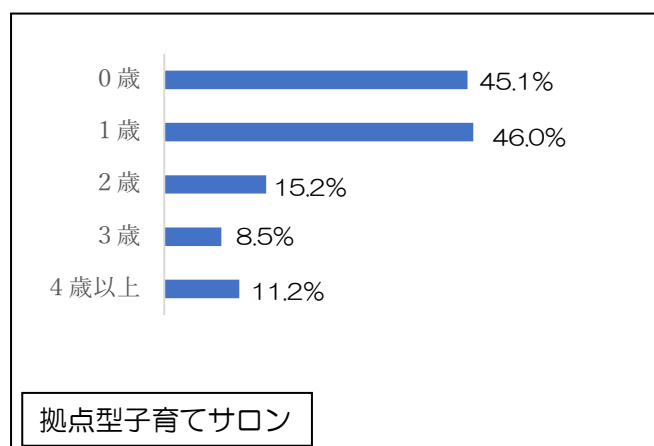
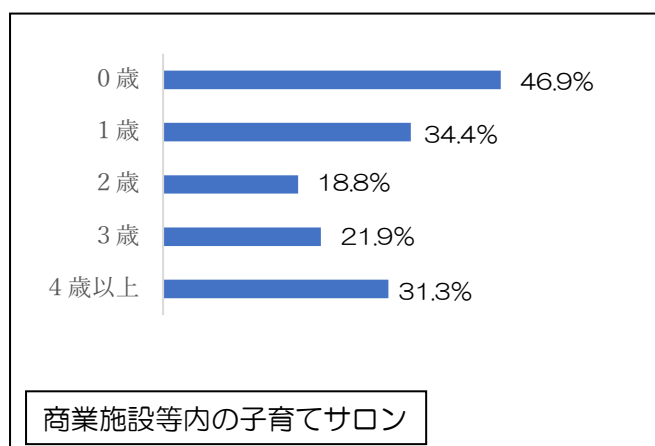
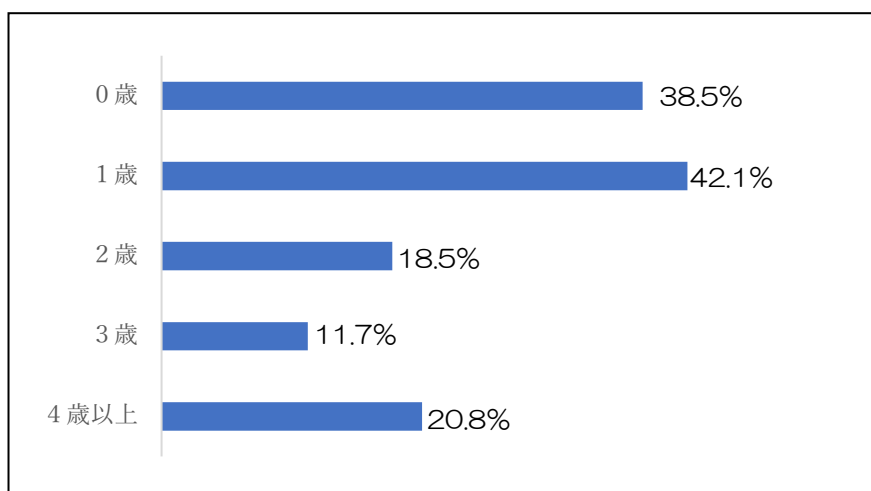
設問1 【お子さんの人数は何人ですか？】



<考察>

全体的に第1子での利用が多い。特に拠点型子育てサロンの利用が多いため、子育てに対する不安感を軽減するためにも利用者に寄り添った対応をしていく必要がある。

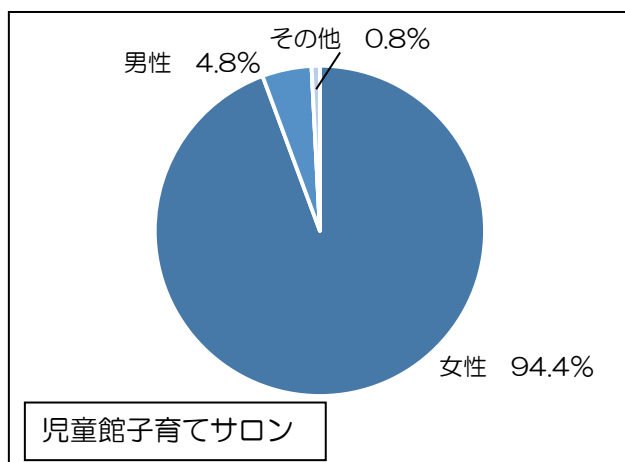
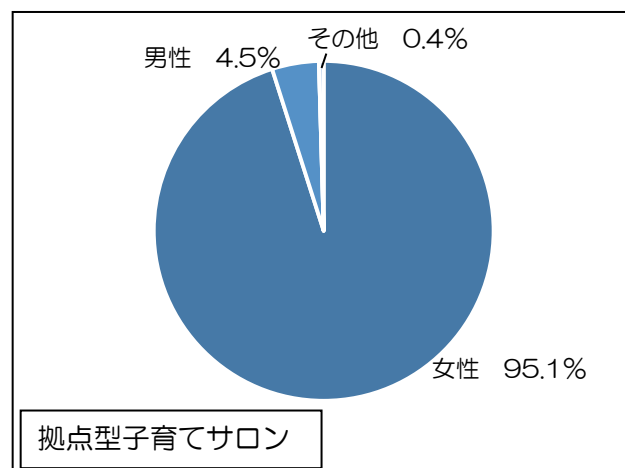
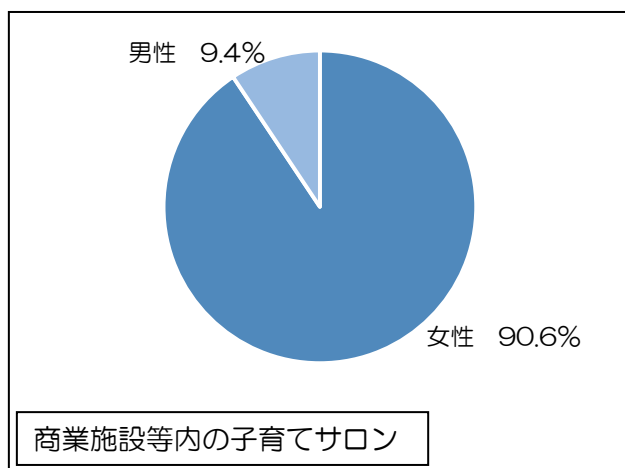
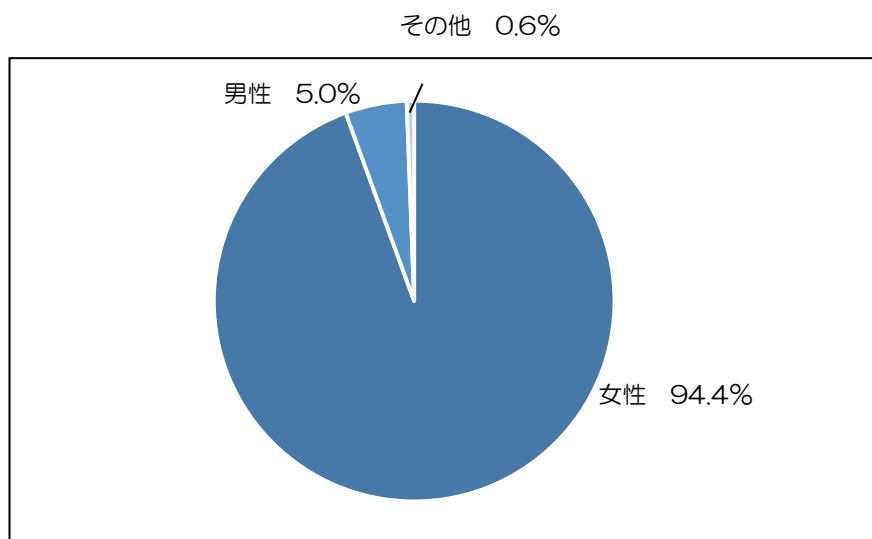
設問2【お子さんの年齢を教えてください（複数回答可）】



<考察>

全体的に0歳、1歳の利用が多くなっている。児童館は、拠点型に比べ2歳以上のお子さんの利用が多く、年齢に応じて、利用者が使い分けている。利用者が状況にあわせて子育てサロンを選択できるように、機能別の3タイプの役割を一層周知していく必要がある。

設問3【あなたの性別を教えてください】

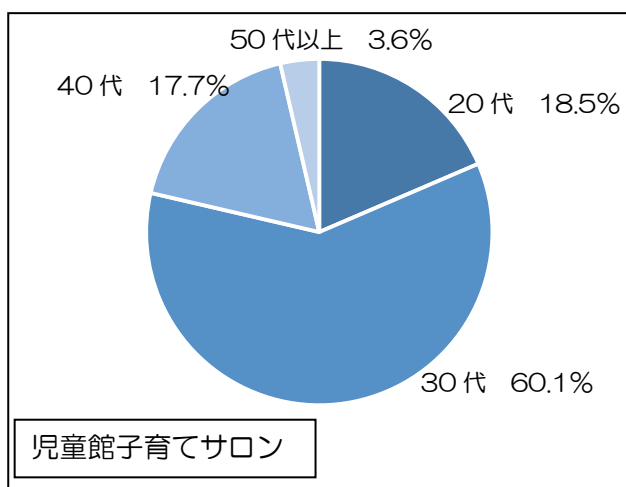
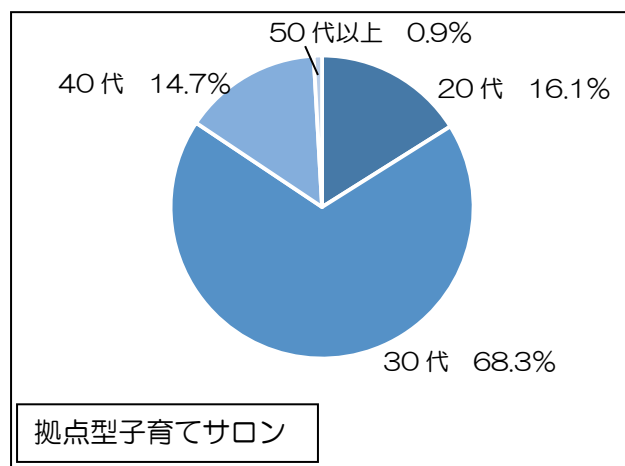
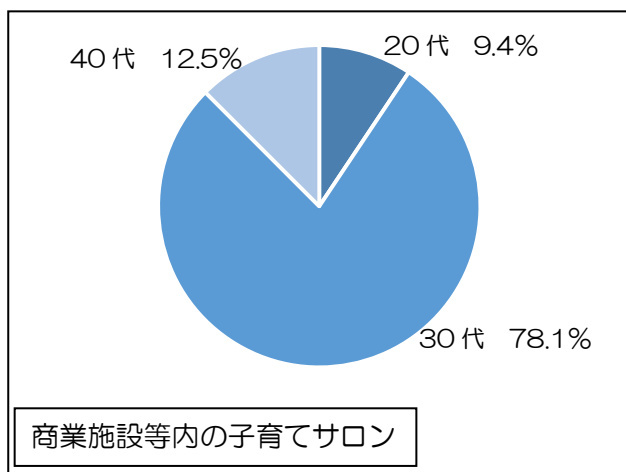
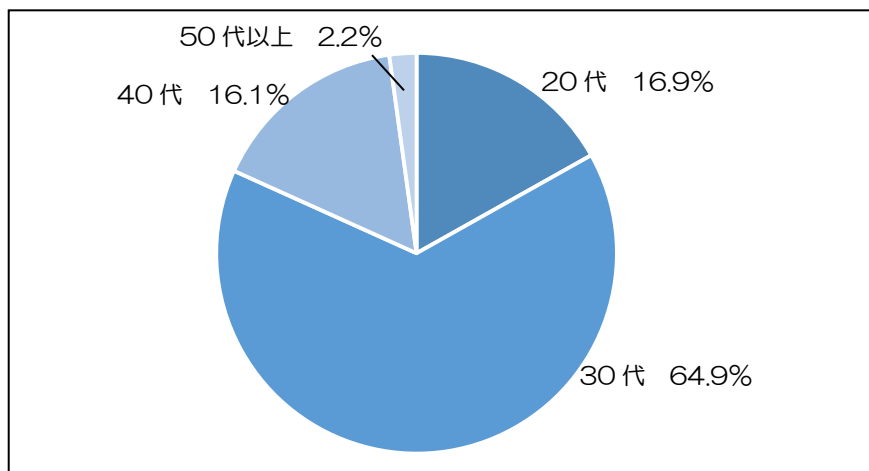


<考察>

商業施設等内の子育てサロンは、ファミリーで利用しやすいことから、男性の利用が多い。

今後は、より男性が利用しやすいような子育てサロンの環境づくりが必要である。

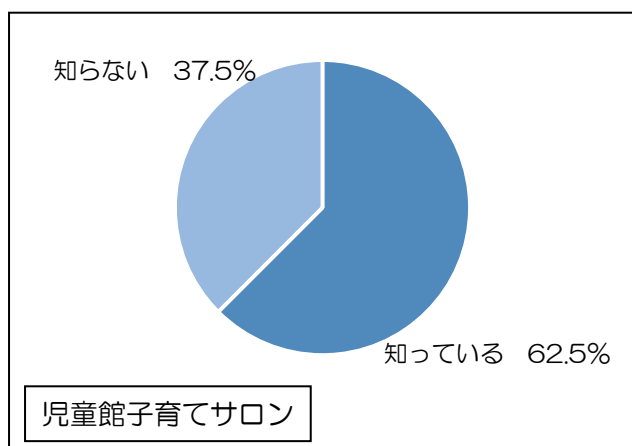
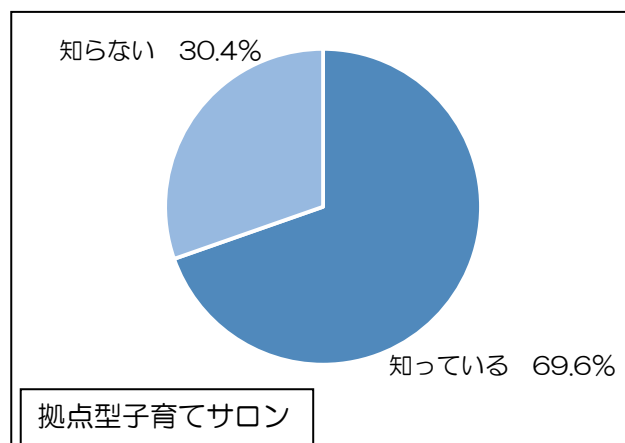
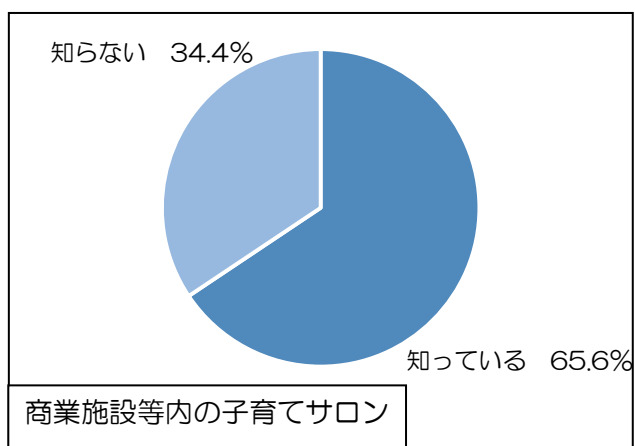
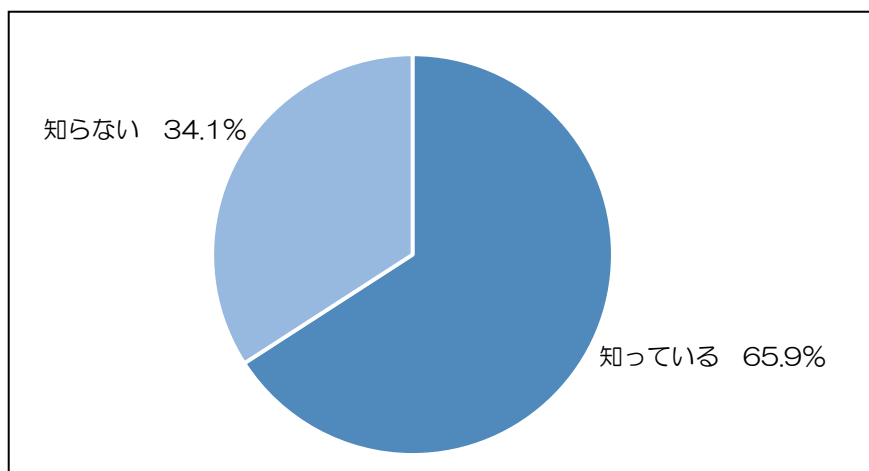
設問4【あなたの年齢を教えてください】



<考察>

全体的に 30 代の保護者が多い。

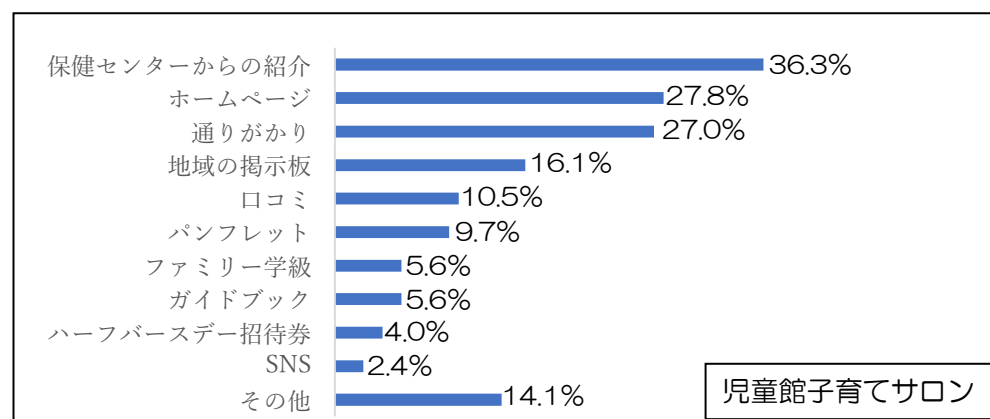
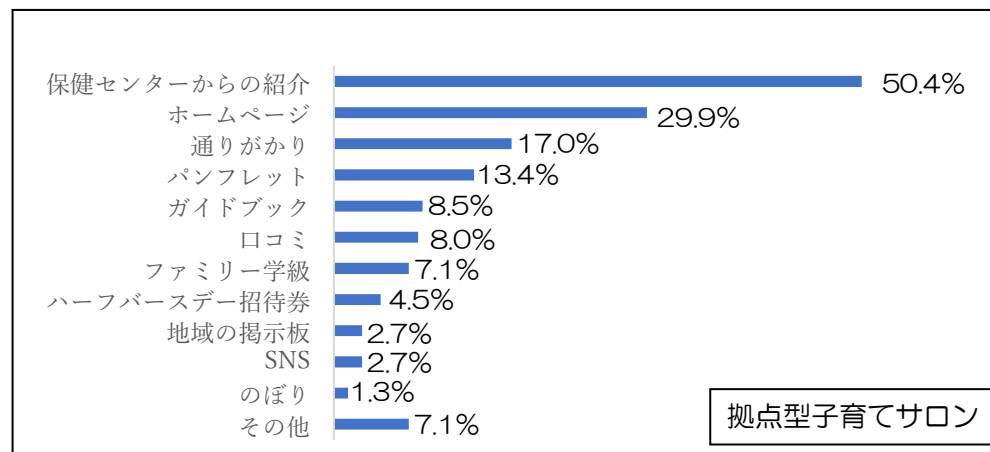
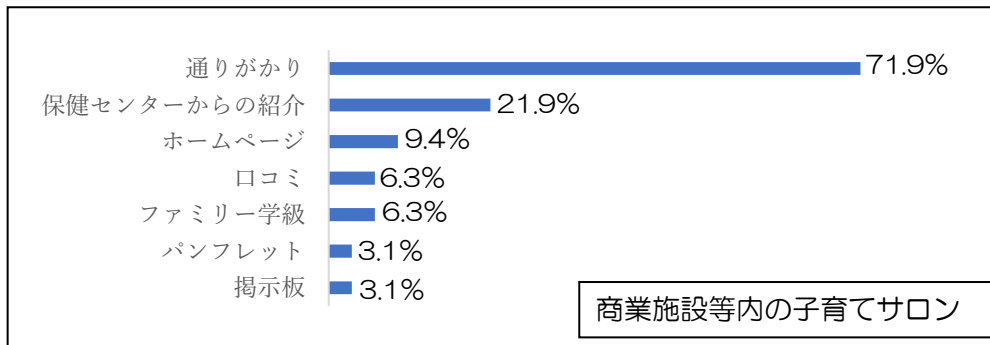
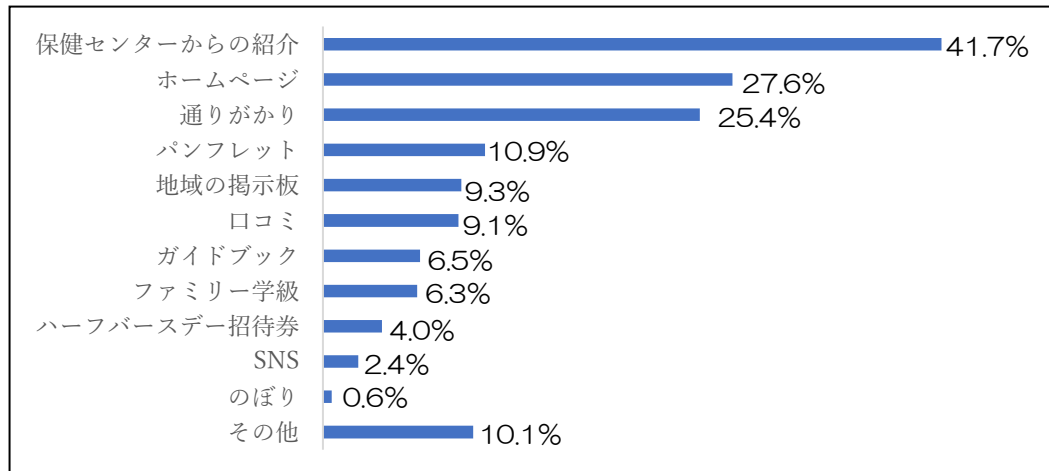
設問5【子育てサロンには、役割の違うタイプがあることを知っていますか？】



<考察>

3タイプの子育てサロンについては、徐々に周知されてきている。一方で、「知らない」という回答が34.1%いることから、今後も継続的に周知していく必要がある。

設問6【子育てサロンを知ったきっかけは何ですか？（複数回答可）】

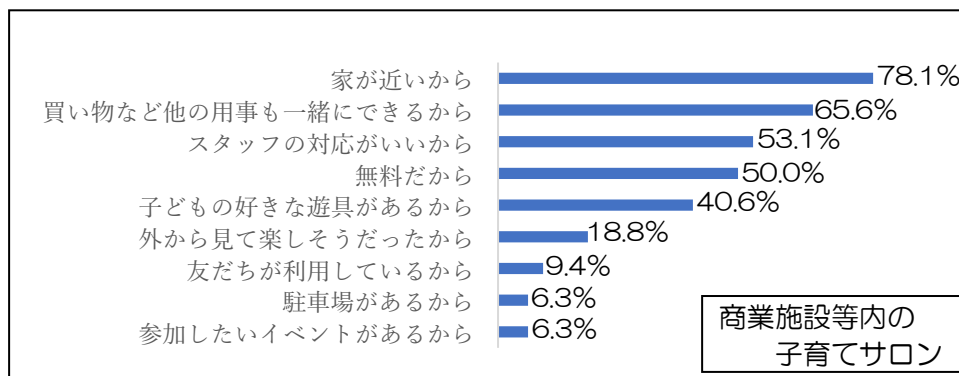
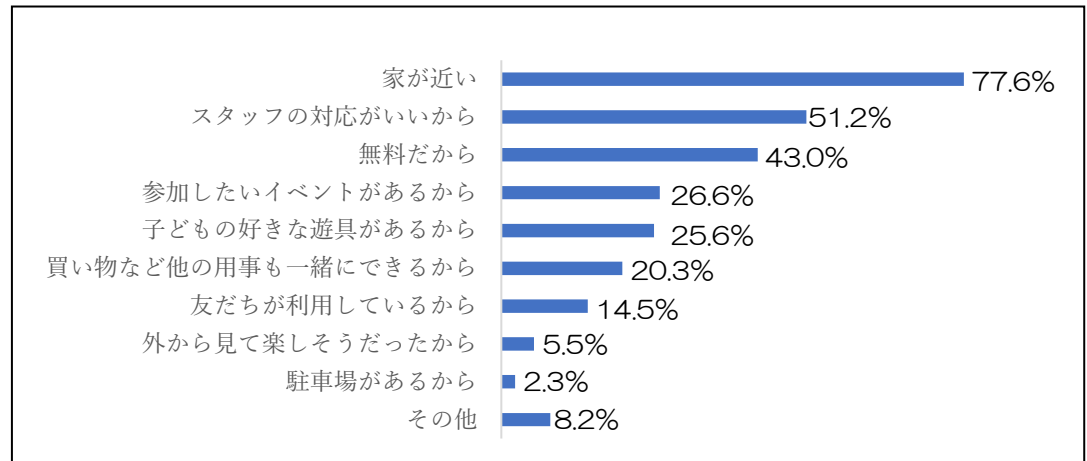


<考察>

商業施設等内の子育てサロンは、通りがかりに子育てサロンを知ったという人が多く、サロン以外の目的で施設を利用した方に周知できている。

拠点型や児童館は近隣からの利用が多く、保健センターからの紹介をきっかけに利用した人が多い。

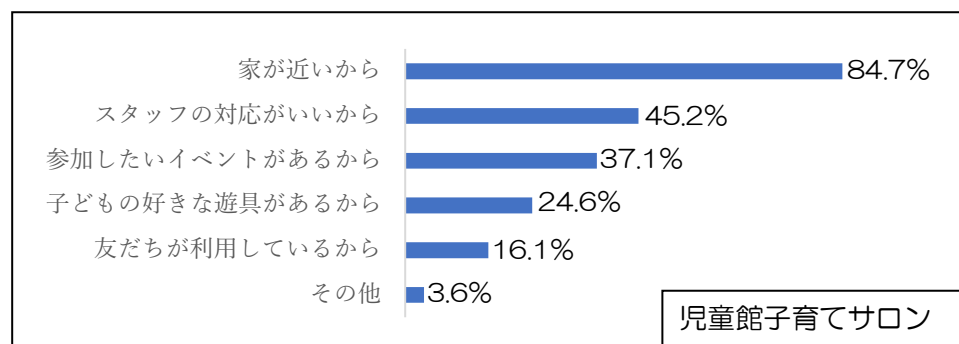
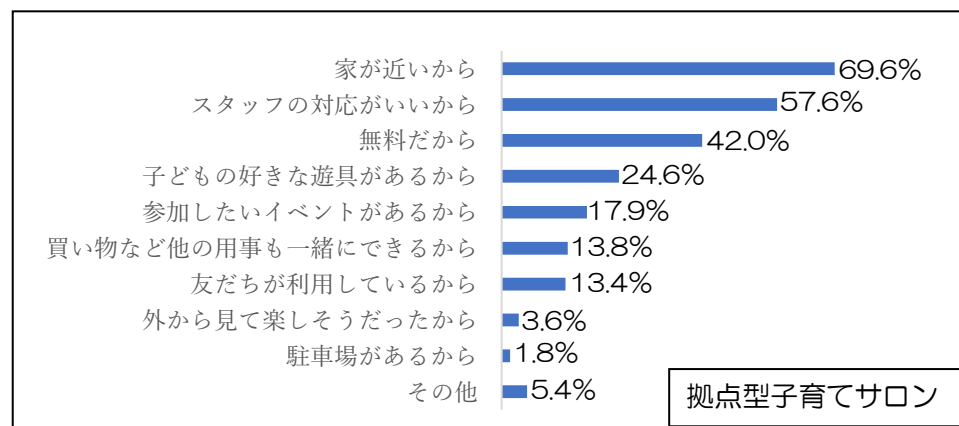
設問7【子育てサロンを選んだ理由は何ですか？（複数回答可）】



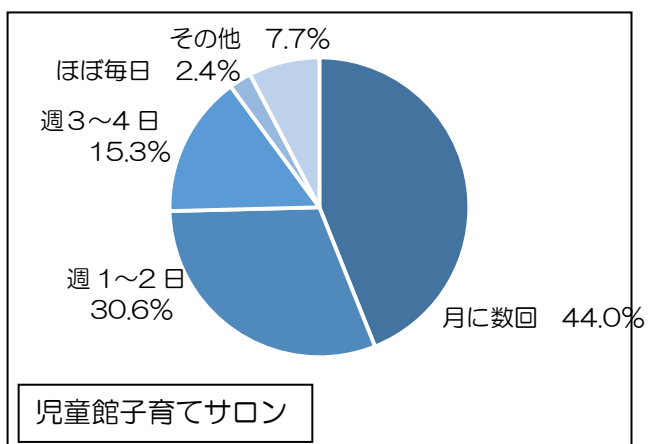
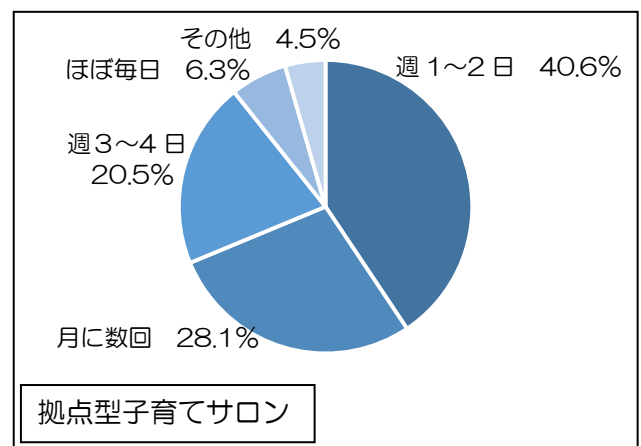
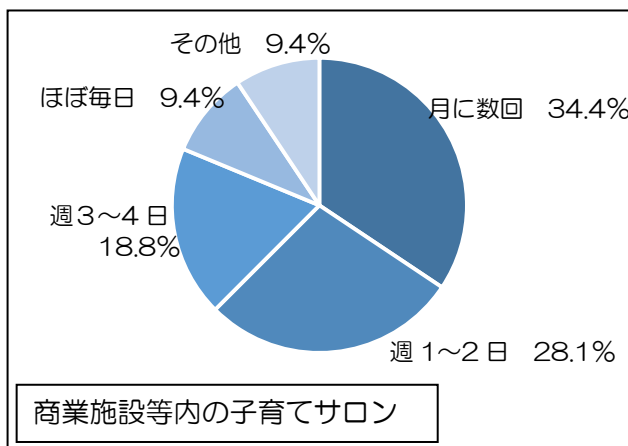
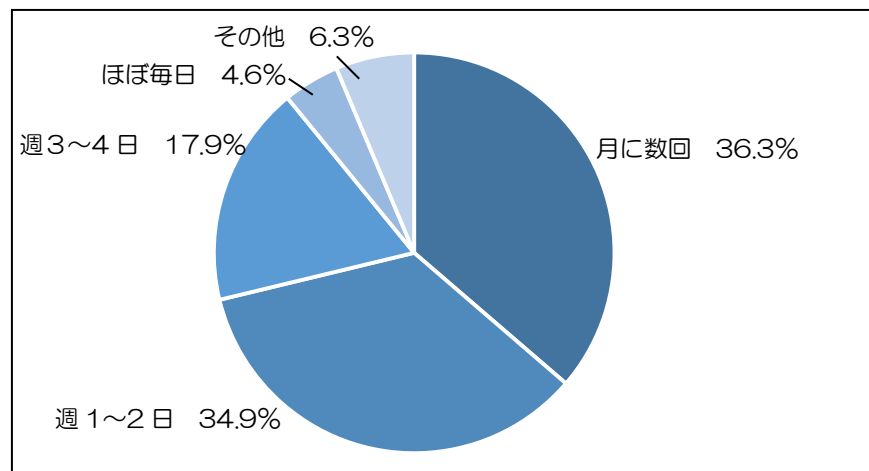
＜考察＞

全体的に「家が近い」という理由が多く、家の近くの子育てサロンが利用されている。

商業施設等内の子育てサロンは、買い物など他の用事も一緒にできるからという理由も多くなっている。



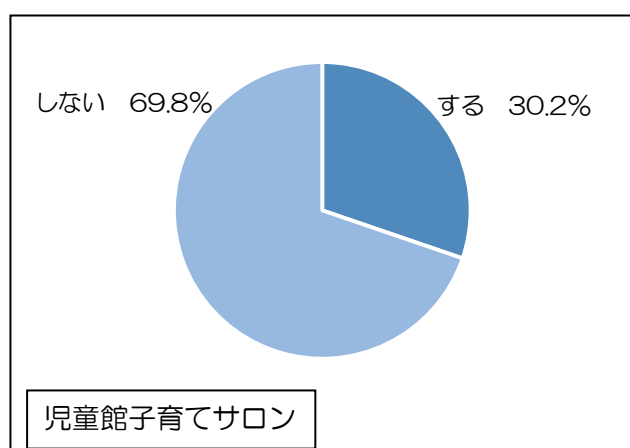
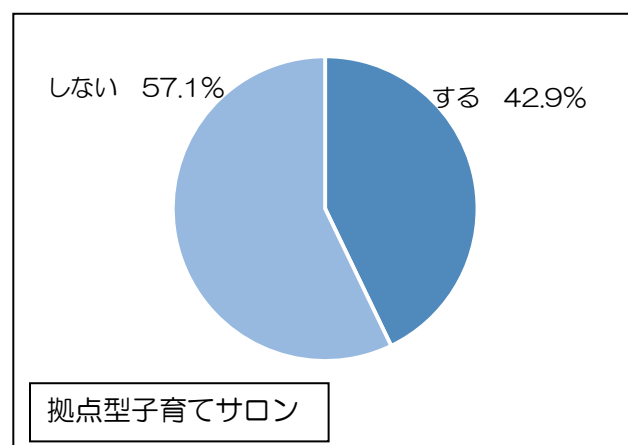
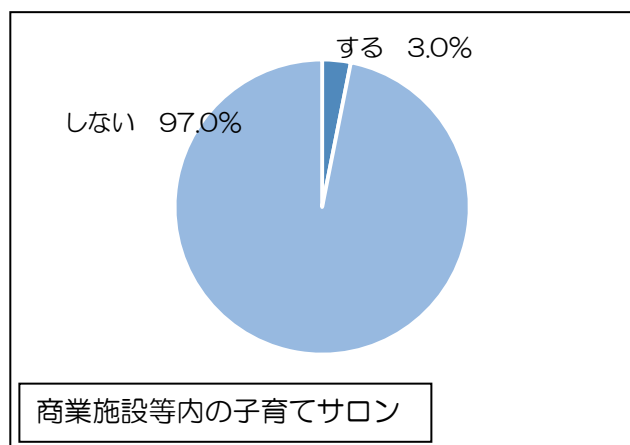
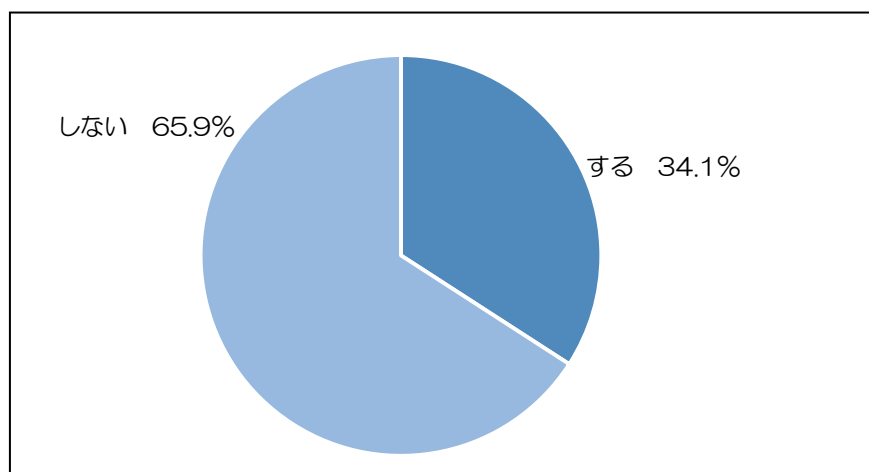
設問8【子育てサロンの利用頻度を教えてください】



<考察>

全体では、月に数回の利用が多くなっているが、拠点型子育てサロンは週に1～2回の利用が最も多く、定期的に利用している人が多い。

設問9【開室時間の延長を希望しますか？】

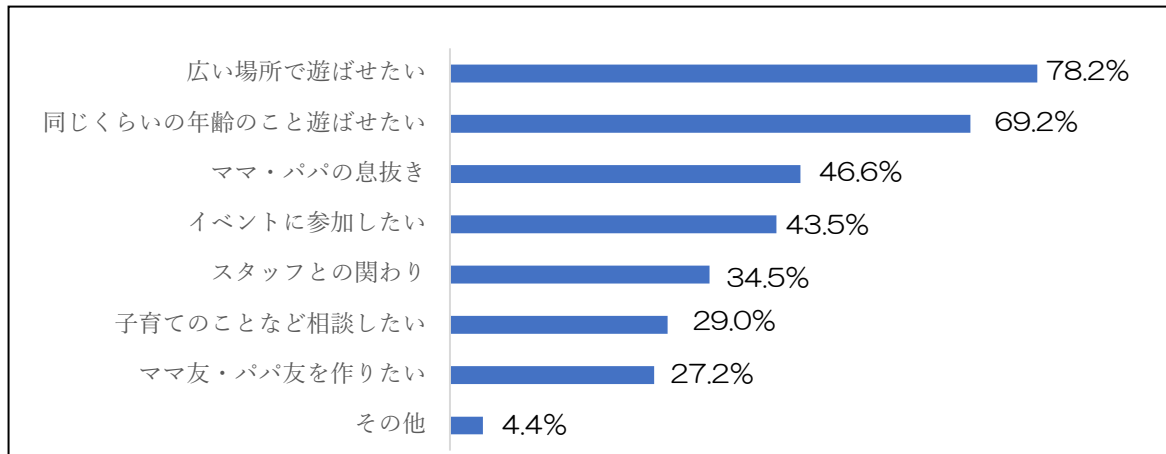


<考察>

全体で 34.1%の人が時間延長を希望している。

タイプ別にみると、拠点型が 42.9%と最も多い。

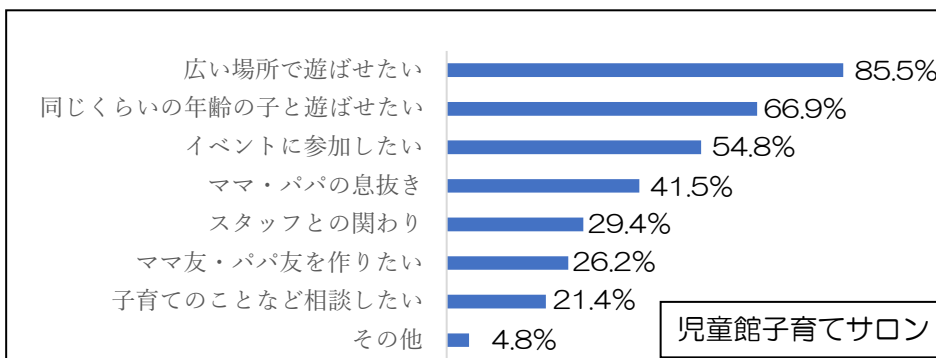
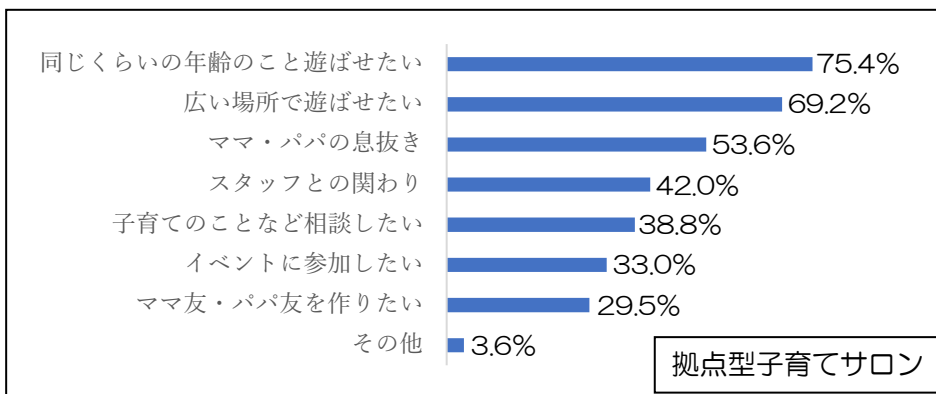
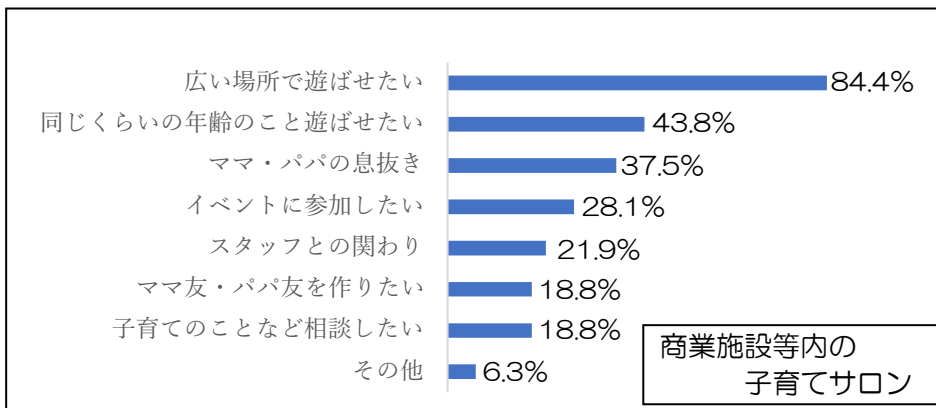
設問 10【子育てサロンを利用する目的は何ですか？（複数回答可）】



<考察>

全体的に「広い場所で遊ばせたい」「同じ年齢の子と遊ばせたい」が多くなっている。

拠点型子育てサロンは、「スタッフとの関わり」「相談したい」の割合が多い。

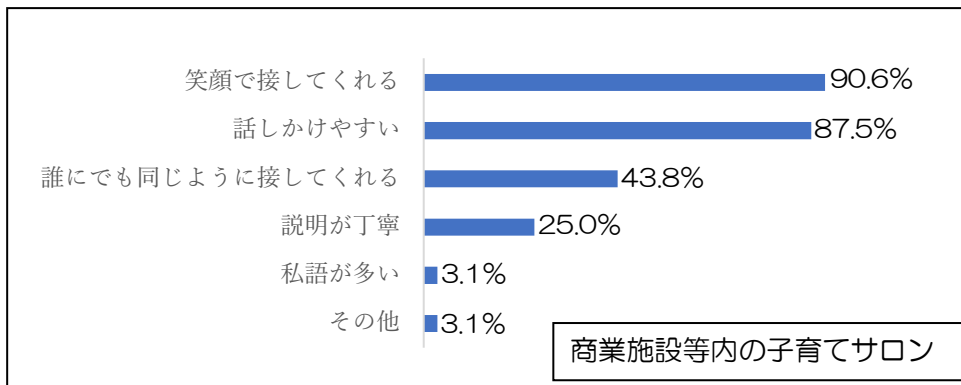
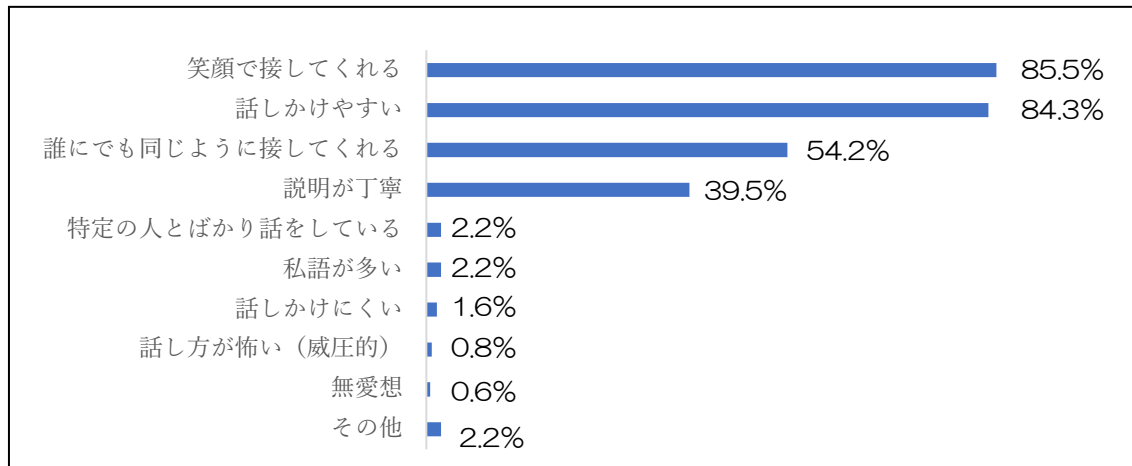


設問 11 【子育てサロンでどんなイベントを実施してほしいですか？】

実施してほしいイベント	回答数
リトミック（リズム運動）	22
季節の行事（クリスマスや豆まきなど）	13
体操	13
工作	11
音楽あそび（コンサートや楽器あそびなど）	9
体を動かすもの	8
同じくらいの月齢の子の交流会	7
ベビーマッサージ	7
英語	6

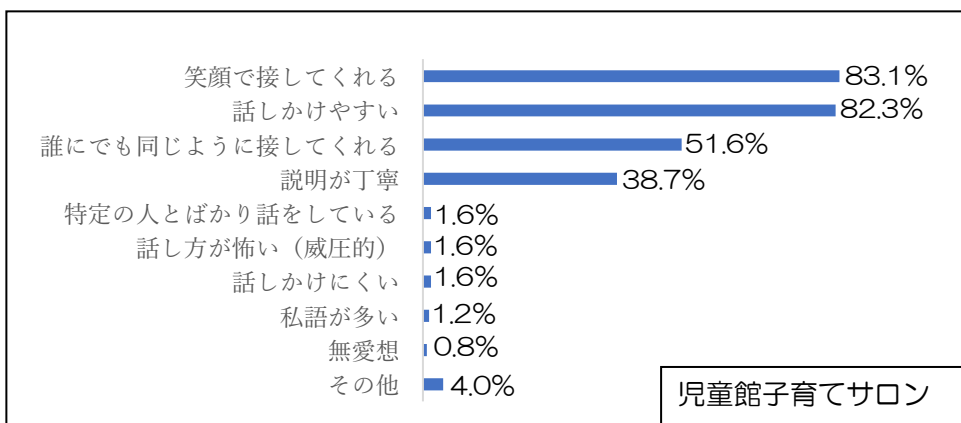
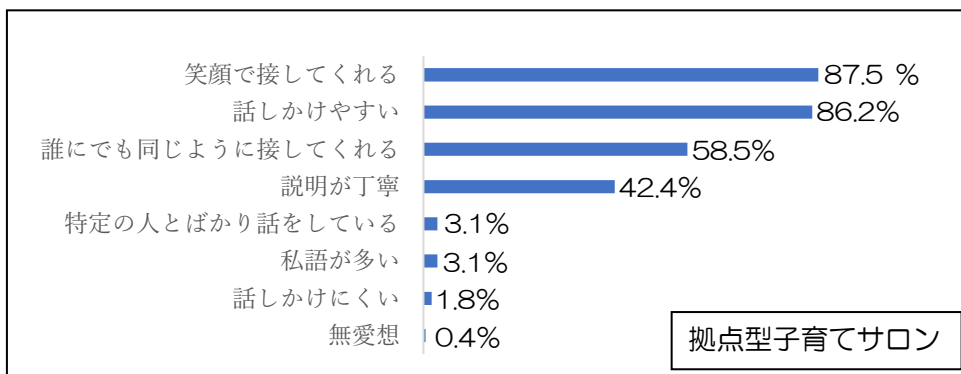
※特に要望が多かったイベントを抜粋して記載

設問 12【子育てサロンスタッフの対応はいかがですか？（複数回答可）】

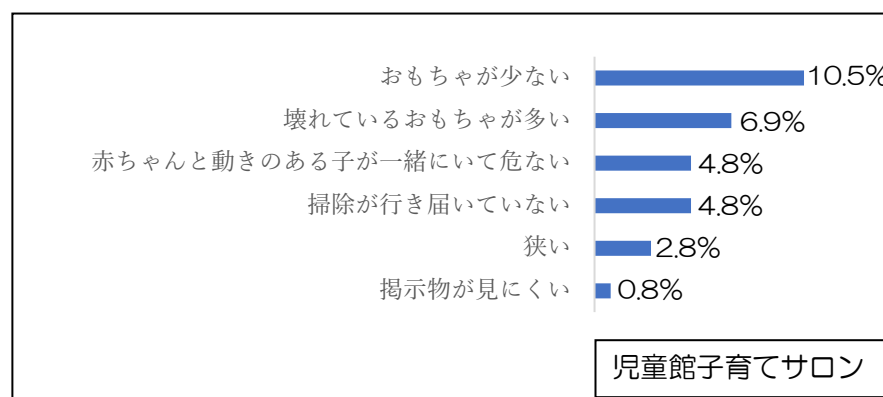
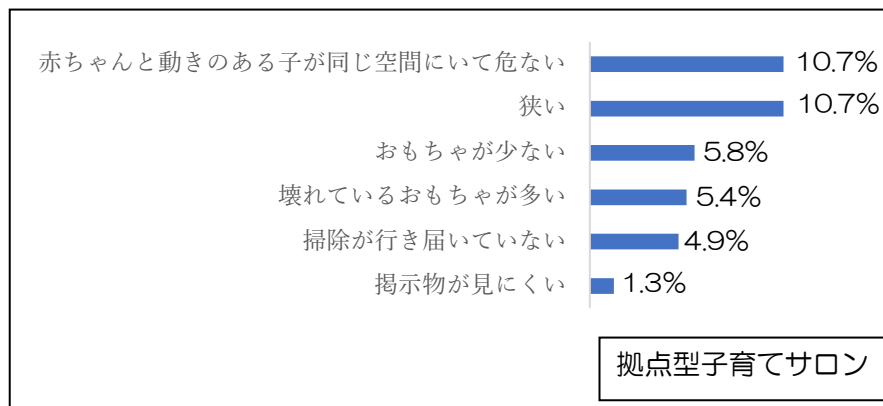
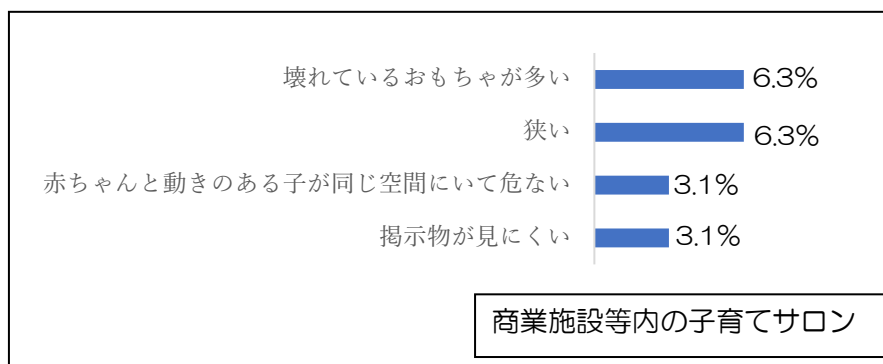
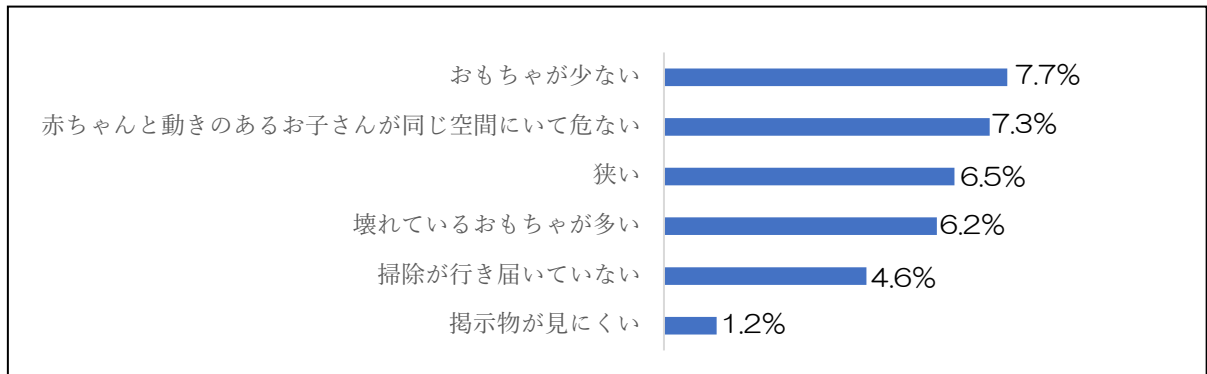


<考察>

全体的にスタッフの対応については、好評をいただいている。一方で、少数ではあるが、「私語が多い」「話しかけにくい」などの意見もあり、今後改善していく必要がある。



設問 13【環境面で直してほしいところがありますか？（複数回答可）】

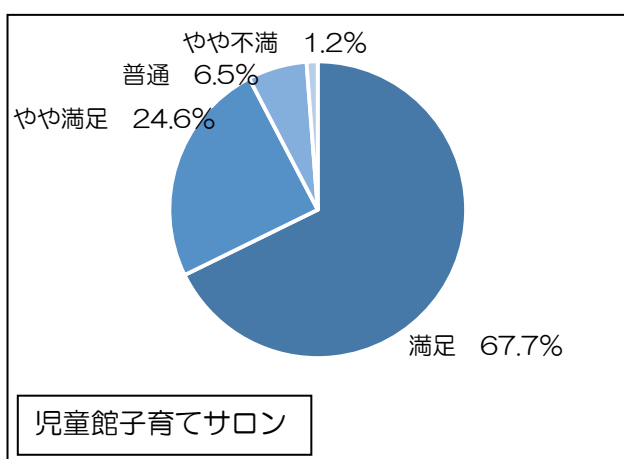
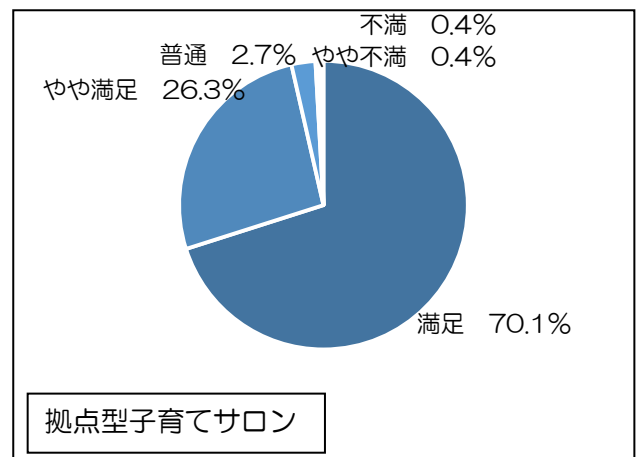
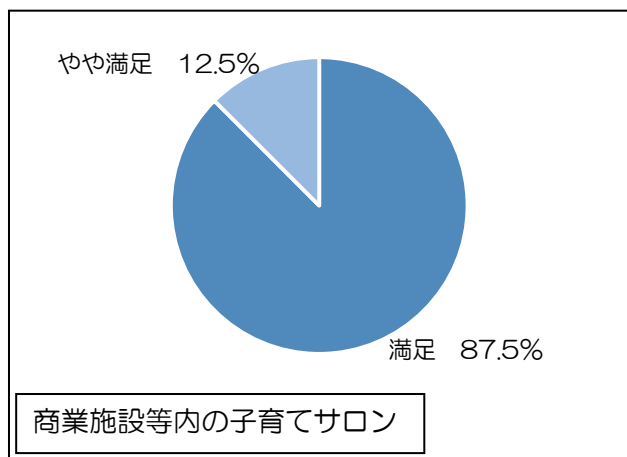
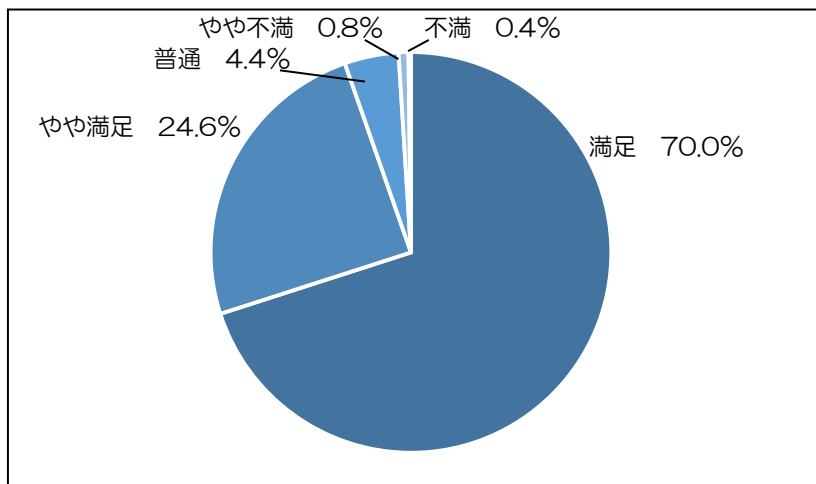


<考察>

「壊れているおもちゃが多い」「おもちゃが少ない」という意見が一定数あり、今後は、遊具の入れ替え時期等の見直しを図っていく必要がある。

施設の広さは様々ではあるが、動きの小さい赤ちゃんと動きのある子が危なくないような工夫をそれぞれの施設で検討していく必要がある。

設問 14【子育てサロンを利用することの満足度はどのくらいですか？】



<考察>

「満足」「やや満足」合わせると、94.6%となっている。